

博物館施設の現状と課題等について

2025.11.6

目次

1. 本調査について

- 1－1 市内博物館の状況・・・P.2
- 1－2 調査概要・・・P.4

2. 博物館施設の調査報告

- 2－1 広島市内・・・P.5
- 2－2 政令指定都市・・・P.10
- 2－3 広島県内・・・P.15
- 2－4 博物館調査まとめ・・・P.20

3. 収蔵庫の調査報告

- 3－1 広島市内の収蔵庫調査・・・P.22
- 3－2 収蔵庫調査まとめ・・・P.31

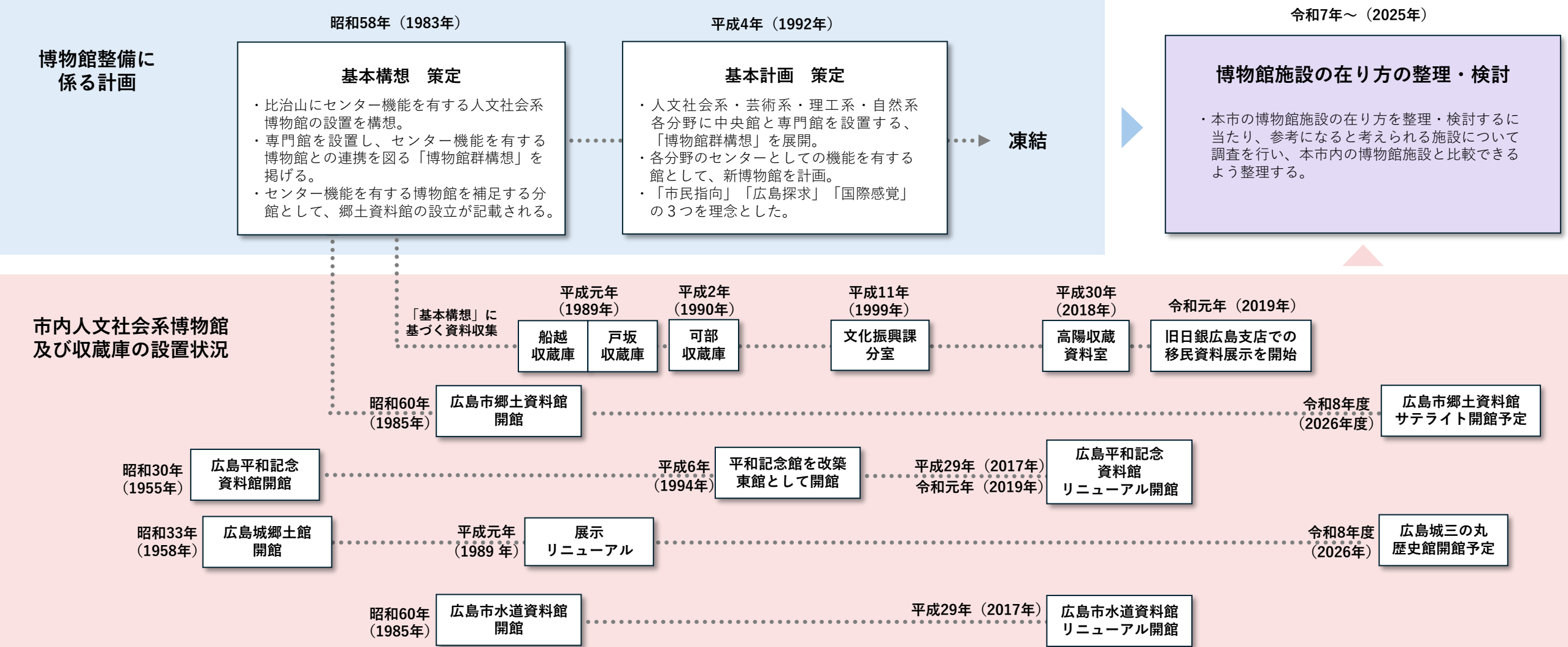
博物館施設の在り方の整理・検討

本市では、広島城や郷土資料館などにおいて各テーマに沿った専門的な展示を行うとともに、昭和58年に策定した「広島市博物館基本構想」（以下「基本構想」という。）に基づき収集した実物資料を4つの収蔵庫（戸坂、高陽、可部及び船越）で管理し、その一部を旧日本銀行広島支店地下室において常設展示している。

このうち、人文社会系の博物館については、基本構想及び平成4年に策定した「広島市博物館（仮称）施設基本計画及び展示基本計画」（以下「基本計画」という。）に基づき、博物館のセンター機能を担う施設、人文社会系の中央館、近・現代を中心とする専門館として比治山公園内に整備することとしていたものの、本市の財政状況の悪化等により事業を凍結している。また、収蔵庫を含む各施設は市内に広く分散しており、老朽化も進んでいることから、体系的な整理・展示、効率的な管理及び適切な環境下での資料保存が十分にできていない状況にある。

こうした中、策定から40年以上が経過する基本構想の取扱いを整理するとともに、上記の課題を解消すべく、人文社会系の博物館施設について調査を行うとともに、当該調査結果を基に有識者等で構成する会議において今後の在り方について整理・検討を行うこととする。なお、当該整理・検討を行うに当たっては、「広島市公共施設等総合管理計画」における基本方針を踏まえる必要がある。

広島市における人文社会系博物館を取り巻く状況



広島市内における博物館施設の構成

本市内における公立博物館の構成をまとめた。人文社会系の博物館は5館、美術工芸系の博物館は2館、生物科学系博物館は7館、総計14館。



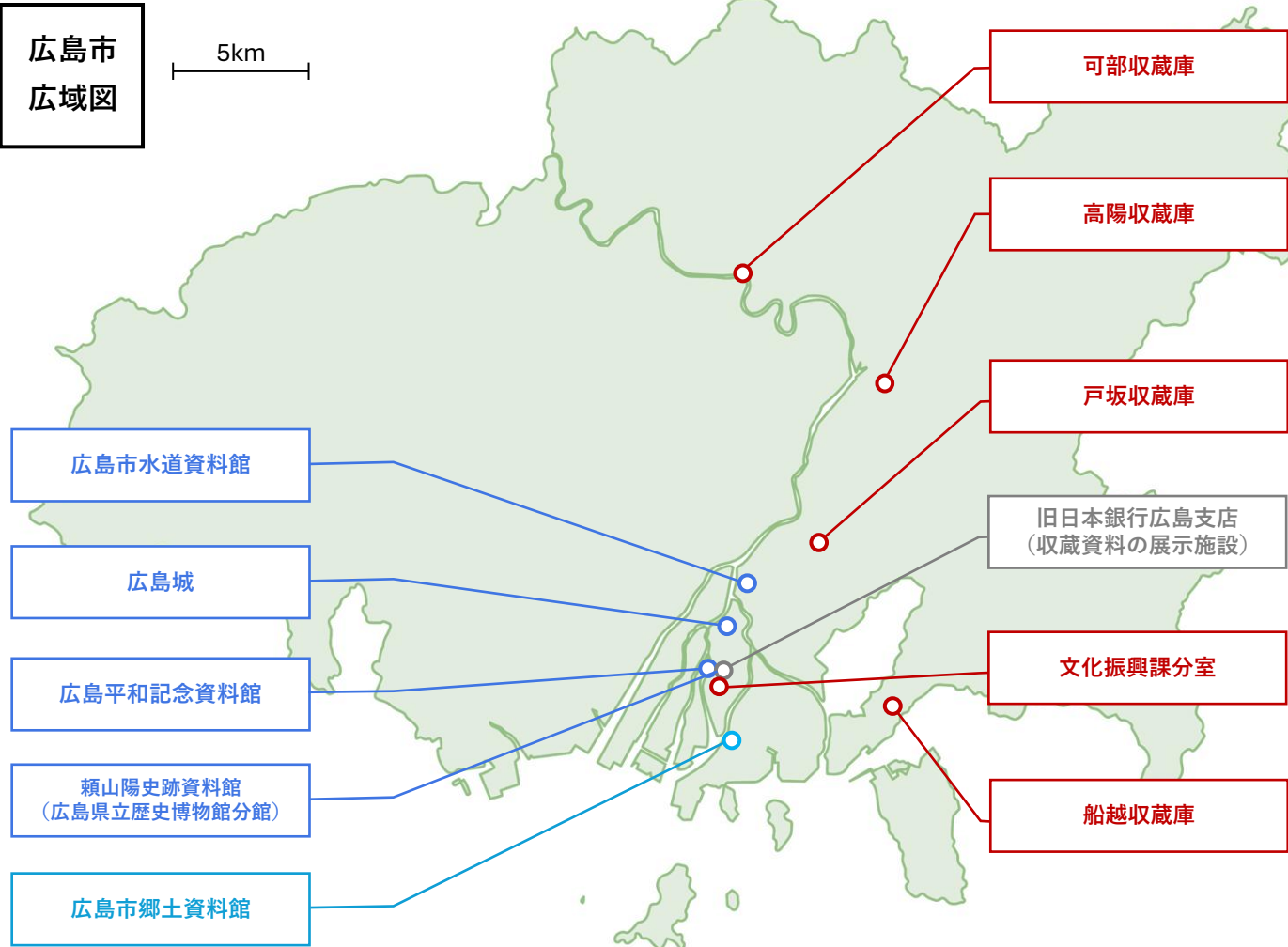
※博物館施設の分類については、P.3「博物館の種類」を参照

■広島市内の公立博物館一覧

登録指定	分野	施設名称	設置者
	歴史	広島市水道資料館	市
	歴史	広島平和記念資料館	市
指定	歴史	広島城	市
登録	歴史	頼山陽史跡資料館	県
登録	郷土	広島市郷土資料館	市
指定	美術	広島市現代美術館	市
登録	美術	広島県立美術館	県
登録	科学	広島市江波山気象館	市
	科学	広島市健康づくりセンター健康科学館	市
登録	科学	広島市こども文化科学館	市
登録	科学	広島市交通科学館	市
指定	動物園	広島市安佐動物公園	市
	動物園	広島市森林公園こんちゅう館	市
	植物園	広島市植物公園	市

広島市内における人文社会系博物館及び収蔵施設の位置関係

本市内における人文社会系博物館は中区を中心に設置されている。一方で収蔵施設は中心地から離れたところに点在しており、資料の管理や活用のしにくさが課題となっている。



本市における博物館施設の在り方の検討を進めるに当たり、他都市における博物館の状況について調査を実施した。集計結果をもとに、博物館活動の状況を比較し、本市における博物館施設の課題を抽出した。

調査対象

■対象地域

- ①政令指定都市（一定の人口・財政規模を有する都市との比較として）
- ②広島県内の都市（近隣地域との比較として）

■博物館

- ・日本博物館協会が編集する『全国博物館総覧』（2025年1月版）に掲載のある博物館施設
- ・国立・独立行政法人・公立（都道府県市町村立）いずれかの施設
- ・『全国博物館総覧』記載の館種のうち「総合」「郷土」「歴史」に該当するもの
- ・②に関して、年間の開館日数が200日以上（令和5年度）かつ、年間来館者が200人以上の施設（令和6年度広島県生涯学習振興・社会教育行政基礎調査に基づく）

■収蔵施設

- ・広島県内の都市が設置する施設
- ・政令指定都市が設置する施設
- ・博物館と同一建物にない、収蔵機能単体で独立する施設

参考：博物館の種類 文化庁HP 博物館の種類より



調査項目

博物館の活動状況を定量的に把握する以下の項目をたて、調査を行った。

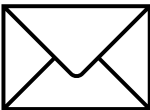
Ⅰ.概要	設置年			
	施設規模	敷地面積	建築面積	延床面積
	展示面積	総展示面積	常設展示室面積	企画展示室面積
	収蔵面積	総収蔵面積	一般収蔵庫面積	特別収蔵庫面積
Ⅱ.来館者	入館料			
	来館者数	2019年度	～	2024年度
Ⅲ.展示構成	展示テーマ			
	通史展示の有無			
	取り扱っている時代区分			
Ⅳ.リニューアル	開館以降のリニューアル状況			
	直近のリニューアル実施年	建築・設備	展示	収蔵庫
	リニューアル事業費			
Ⅴ.収蔵庫	収蔵庫立地			
	収蔵資料	収蔵総件数	収蔵資料の種類	指定文化財の有無
	収蔵環境	温湿度管理の設備有無	収蔵庫使用率	収蔵品のデジタル化推進割合
Ⅵ.運営	職員数	事務員	学芸員	その他
	運営方法			
	収支実績			

調査方法

対象施設の所管課に上記項目を記した調査シートをメール送付し、回答を集計。
計144館（全166館中）の回答を得られた。

メール送付

8/19～8/29



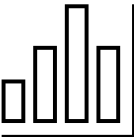
メール調査期間

8/19～9/5



回答集計

9/5～9/30



施設概要

名		称	広島市郷土資料館
所	在	地	広島市南区宇品御幸二丁目6-20
設	置	者	広島市
所	管	部 署	文化振興課
設	置	年	1985年



施 設 面 積（㎡）				展示面積 内訳		収蔵庫面積 内訳		
敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	総展示面積 (㎡)	常設展示室面積 (㎡)	企画展示室面積 (㎡)	総収蔵庫面積 (㎡)	一般収蔵庫面積 (㎡)	特別収蔵庫面積 (㎡)
3,410	1,469	2,558	686	588	98	808	702	106

入	館	料	一般：100円	シニア・高校： 50円	中学生以下：無料
---	---	---	---------	-------------	----------

来 館 者 層 小中学生、大人・シニア層

来 館 者 数	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	27,845	10,232	11,395	17,596	19,925	25,197

リニューアル

リニューアル有無		なし	
実 施 年	建築・設備	—	
	展示	—	
	収蔵庫	—	

今 後 の 計 画 広島市中央図書館移転に伴い、郷土資料館サテライトを計画中（2026年度オープン予定）

運営

職 員 数	事務職員	2人
	学芸員	4人
	その他	1人
運 営 方 法	指定管理	

展示構成

展 示 テ ー マ 広島市とその周辺地域における近代を中心とした歴史と伝統的地場産業、人々の暮らしにかかわる資料を収集し、展示している。

通 史 展 示	なし	原始	古代	中世	近世	近・現代
	なし	なし	なし	なし	あり	あり

収蔵庫

収 蔵 庫 立 地	博物館内	あり
	博物館敷地内	あり
	博物館敷地外	なし

収 蔵 総 件 数	約20,000件以上						
収蔵資料の種類	歴史	民俗	考古	現代	美術	その他	その他(記入)
	あり	あり	なし	あり	あり	なし	

指定文化財の有無	あり
温湿度管理設備	あり
収 蔵 庫 使 用 率	140％
デジタル化進捗割合	30％

保存環境について

名称	収蔵庫面積	使用開始年度	主な収蔵品	収蔵資料点数計
広島市郷土資料館	808㎡	昭和63年度	軸物等重要資料など	5点 ※市提供資料による 市郷土資料館としては 2万点程度

収蔵庫状況の課題と検討事項
収蔵庫は二層構造となっており、民具・船・唐箕・糸車などが収蔵されている。学芸員がいることで資料整理がなされている。
収蔵状況としては**100％**を超過しており、収納什器の他床置きの資料が多く見受けられる状況である。
スチールの出入口扉・木質系の内装材を有している。
空調機は運転していなかったが除湿機などは各所に設置されている。

保存環境

一般収蔵庫
空調吹き出し口を有していたが、運転はされていない状況。置き型除湿機を有することから湿度管理がある程度できる状況である。
8月22日温湿度計にて**32度44％**を確認。（1階収蔵庫）

特別収蔵庫
空調吹き出し口を有していたが、空調機器が故障しているとのことで運転されていない状況。置き型除湿機を有することから湿度管理がある程度できる状況である。

区分	No	項目	一般収蔵庫（1階）	一般収蔵庫（2階）	特別収蔵庫
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100％にて表示、100％を超える状況は棚に置ききれず床置き <small>の状況を示す</small>)	150％	120％	70％
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	民具・船・唐箕他	民具・糸車他	紙資料・絵画・衣類・民具
	3	年間の収蔵品の増加率	大型資料の受け入れは難しいが大型を除いて増加傾向にある		増える
	4	作品リストの管理状況について	市郷土資料館のデータベースにて管理		広島市にてデータベースを有する
	5	収納物の収納状況について	収納什器による収納・大型は床置き保管	小型民具は棚置き一部床置き	木製箆笥・木製オープン棚にて収納
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	空調停止中 32℃ 44％	空調機はあるが空調停止中	24時間空調だが空調故障中
	2	現収蔵庫の空気質	不明	不明	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	目視上なし 昆虫トラップあり	目視上なし 昆虫トラップあり	目視上なし 昆虫トラップあり
収蔵庫設備	1	現収蔵庫扉について	スチール扉	スチール扉	スチール扉
	2	現収蔵庫の内装材	床：フローリング 壁天井：杉板張り	床：フローリング 壁天井：杉板張り	床：フローリング 壁天井：杉板張り
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	スチール棚・木製棚	スチール棚・木製棚	木製棚・木製箆笥
	2	現収蔵棚の使用状況	棚板に対してほぼ100％にて設置	棚板に対してほぼ100％にて設置	作品は中性紙箱に収納の上、木製棚に設置
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	特になし 落下防止ベルト無し	特になし 落下防止ベルト無し	特になし 落下防止ベルト無し
空調・電気設備	1	現在の機器設備について	換気・置き型除湿器	換気・置き型除湿器	置き型除湿器
	2	空調に関する課題や困りごと	空調運転されていないため温度管理・湿度管理が難しい	空調運転されていないため温度管理・湿度管理が難しい	空調機故障中の為、温度・湿度管理が難しい
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されてない	施設照明がLED化されてない	施設照明がLED化されてない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに出ている資料等がある場合の対応について	定期的に燻蒸作業を実施 小規模なものは個別に清掃・クリーニング		
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	昆虫トラップの設置	昆虫トラップの設置	昆虫トラップの設置
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注
その他	1	その他お困りごと	収納容量が足りない	収納容量が足りない	特になし

収蔵状況について



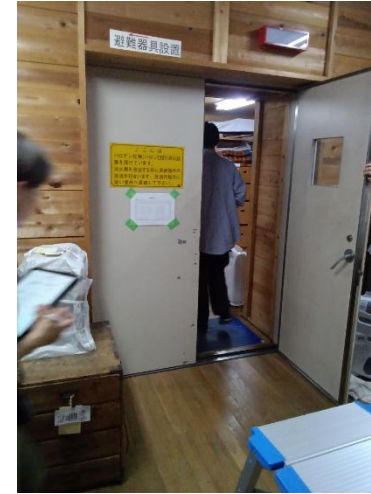
郷土資料館 外観

一般収蔵庫



郷土資料館一般収蔵庫 収蔵状況

特別収蔵庫



郷土資料館特別収蔵庫 外観



郷土資料館特別収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館一般収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館一般収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館特別収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館特別収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館一般収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館一般収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館特別収蔵庫 収蔵状況



郷土資料館特別収蔵庫 収蔵状況

施設概要

名 称	頼山陽史跡資料館
所 在 地	広島市中区袋町5-15
設 置 者	広島県
所 管 部 署	教育委員会
設 置 年	1995年



施 設 面 積（㎡）				展示面積 内訳		収蔵庫面積 内訳		
敷地面積 （㎡）	建築面積 （㎡）	延床面積 （㎡）	総展示面積 （㎡）	常設展示室面積 （㎡）	企画展示室面積 （㎡）	総収蔵庫面積 （㎡）	一般収蔵庫面積 （㎡）	特別収蔵庫面積 （㎡）
1,673	594	583	198	56	144	80	80	－

入 館 料	一般：200円 大学生：150円 以外無料
-------	---------------------------------

来 館 者 層	学生等の若い年代層は少なく、65歳以上の年齢層が多い。					
来 館 者 数	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	5,091	2,499	2,207	3,675	4,826	4,812

リニューアル		
リニューアル有無	なし	
実 施 年	建築・設備	—
	展示	—
	収蔵庫	—
今 後 の 計 画	令和7年度に館内LED化	

運営			
職 員 数	事務職員	3人	
	学芸員	2人	
	その他	－	
運 営 方 法 直営			

展示構成

展 示 テ ー マ	頼山陽を中心とした江戸時代の広島 の歴史と文化に関する資料の展示、調査研究を行う。						
	通 史 展 示	なし	原始	古代	中世	近世	近・現代
		なし	なし	なし	あり	あり	

収蔵庫

収 蔵 庫 立 地	博物館内 あり						
	博物館敷地内 あり						
	博物館敷地外 なし						
収 蔵 総 件 数	10,000件以上						
収蔵資料の種類	歴史	民俗	考古	現代	美術	その他	その他(記入)
	あり	なし	なし	なし	あり	なし	
指定文化財の有無	あり						
温湿度管理設備	あり						
収 蔵 庫 使 用 率	90%						
デジタル化進捗割合	20%						

保存環境について

名称	収蔵庫面積	使用開始年度	主な収蔵品	収蔵資料点数計
頼山陽史跡資料館	80㎡	平成7年度	頼家資料 (文書・軸) など	9,000点以上 (うち5,547点が 重要文化財)

収蔵庫状況の課題と検討事項

資料館として30年を経過している施設であるが、空調による温湿度管理や収納物に対して中性紙箱に保存しているなど、中長期保管を意識した収納対策が施されている。

出入口扉には火災時対策として収蔵庫扉（耐火扉）、内部には調湿建材を用いた収蔵庫工法が採用されている。

収蔵状況としては100％を超過しており、大小資料が床に置かれている状況である。

保存環境

収蔵庫内空調が運転され、かつ収蔵庫工法（二重壁工法）による湿度対策も施されている。

出入口には耐火扉（収蔵庫扉）を有している。

区分	No	項目	収蔵庫
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100％にて表示、100％を超える状況は 棚に置ききれず床置き状況を示す)	150％ 棚＋床置き資料有り
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	文書類が主体 広島頼家3代の資料・竹原頼家資料
	3	年間の収蔵品の増加率	増加していく 8割が軸とのこと
	4	作品リストの管理状況について	目録を有する
	5	収納物の収納状況について	木製・スチール什器に 中性紙箱を用いて収納
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	2 4 時間空調
	2	現収蔵庫の空気質	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	特になし
収蔵庫設備	1	現収蔵庫扉について	収蔵庫出入口扉（耐火扉）
	2	現収蔵庫の内装材	床：ブナフローリング 壁・天井：木質系調湿建材 ※収蔵庫メーカーによる収蔵庫
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	木製オープン棚 スチール棚 木箆筒
	2	現収蔵棚の使用状況	棚の形状にあわせて中性紙箱などで保管 軸は軸箱
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	特になし 落下防止ベルト無し
空調・電気設備	1	現在の機器設備について	恒温恒湿タイプ空調機
	2	空調に関する課題や困りごと	温湿度は安定しているため特になし
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されてないが今後LED計画あり
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに 出ている資料等がある場合の対応について	定期的に燻蒸を実施 個別に清掃・クリーニング
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	昆虫トラップの設置 温湿度管理
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	施設セキュリティ
その他	1	その他お困りごと	バックヤードと来客の動線が一緒になっており 搬入などに苦慮

収蔵状況について



頼山陽史跡資料館 外観



頼山陽史跡資料館前室 収蔵状況



頼山陽史跡資料館 収蔵状況



頼山陽史跡資料館 収蔵状況



頼山陽史跡資料館 収蔵状況

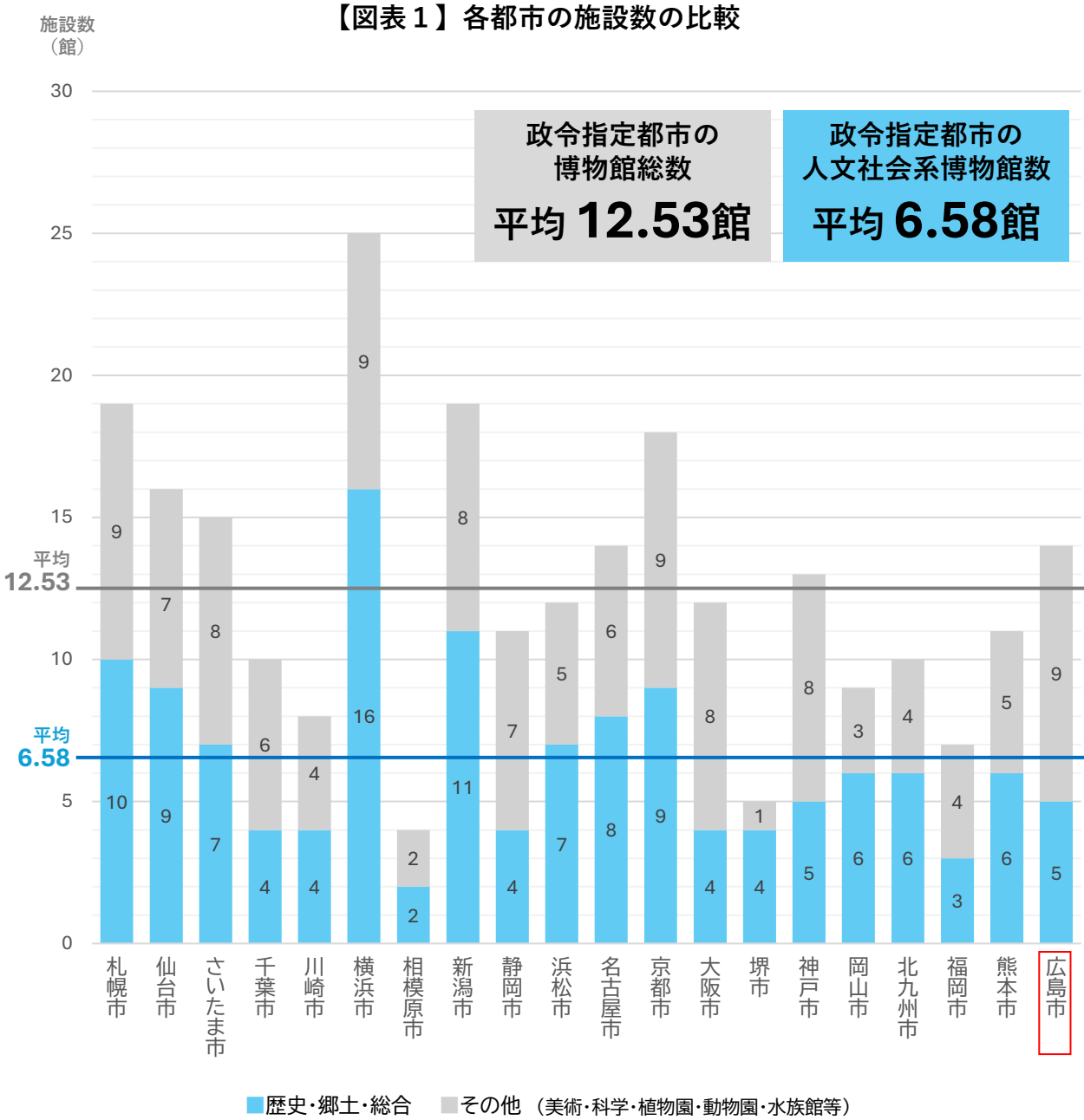


頼山陽史跡資料館 収蔵状況

政令指定都市における博物館の数（図表1）

各政令指定都市における公立博物館の総数と人文社会系博物館の数をまとめた。本市における博物館総数は他都市の平均と比べて多いものの、人文社会系博物館は少ない傾向にある。

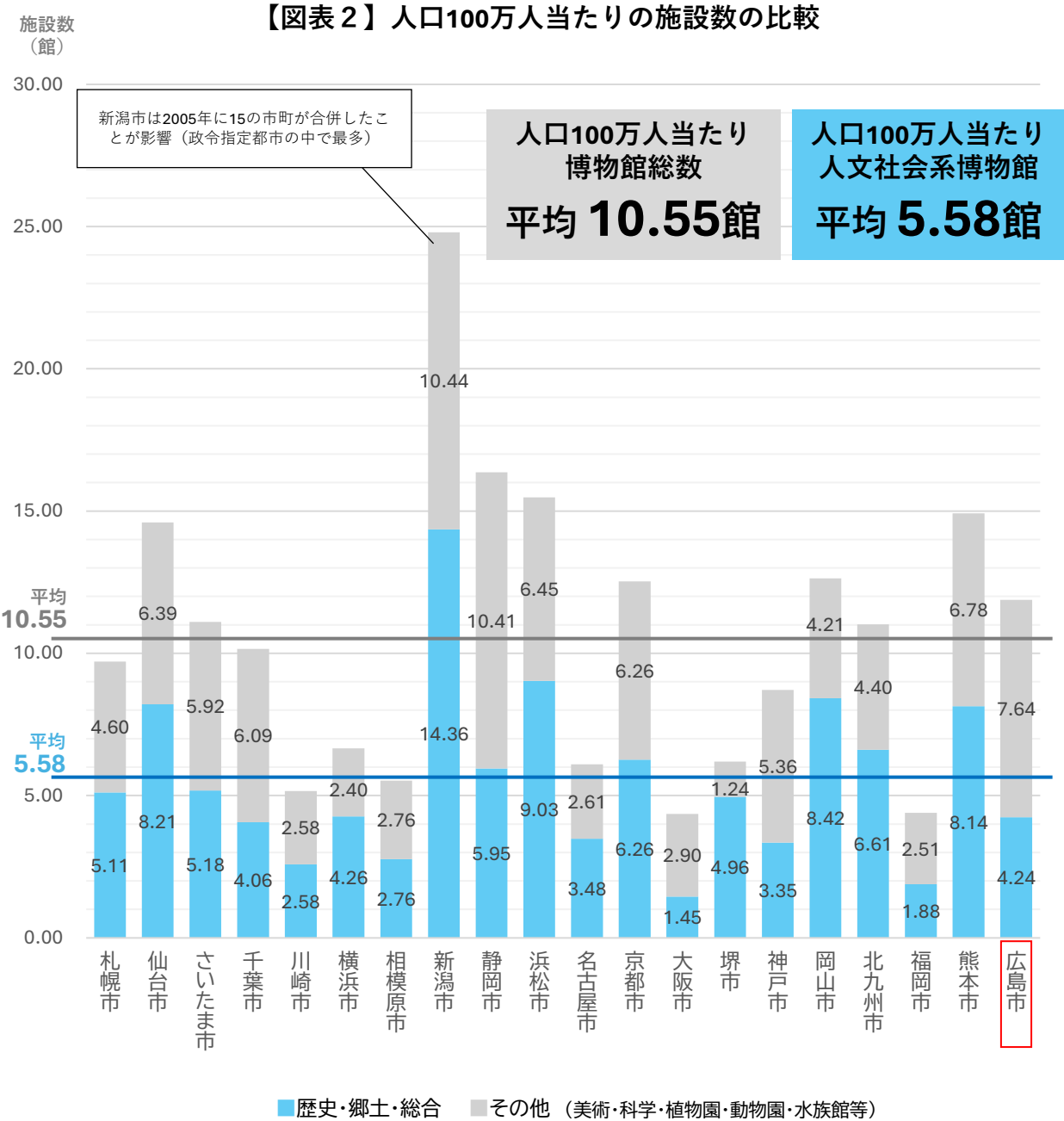
※平均値に広島市は含まない



人口100万人あたりの博物館の数（図表2）

各政令指定都市において人口100万人当たりの人文社会系博物館の数を比較したものである。100万人あたりの平均値は5.58館、対して本市は4.24館と平均を下回る結果となった。

※平均値に広島市は含まない



各都市における人文社会系博物館の構成パターン

図表 3 を基に、各都市における人文社会系博物館の主な構成を整理した。多くの政令指定都市には、中核博物館又は包括的に地域の歴史を取り扱う博物館が設置されているのに対し、本市にはいずれも存在せず、専門的なテーマを取り扱う博物館が点在している。

【図表3】各都市の施設構成

都市	郷土 (館)	歴史 (総合博物館の歴史部門を含む)	施設構成
札幌市	4	6	●
仙台市	0	9	○
さいたま市	2	5	●
千葉市	2	2	●
川崎市	0	4	—
横浜市	1	15	○
相模原市	0	2	○
新潟市	2	9	●
静岡市	0	4	○
浜松市	1	6	○
名古屋市中核博物館	0	8	●
京都市	0	9	○
大阪市	0	4	○
堺市	0	4	○
神戸市	0	5	●
岡山市	0	6	○
北九州市	0	6	●
福岡市	0	3	○
熊本市	0	6	●
広島市	1	4	—

凡例
●: 中核博物館
○: 包括的に地域の歴史を取り扱う博物館
—: 中核博物館等未整備または計画中

川崎市は令和7年2月「新たなミュージアムに関する基本計画」を策定

また、中核博物館として定義されていない博物館のうち、通史展示を有し、地域の歴史を扱う都市の主要博物館を「包括的に地域の歴史を取り扱う博物館」と定義する。



The diagram illustrates the organizational structure of the Chiba Museum system. At the center is a purple circle labeled "千葉県立中央博物館" (Chiba Prefectural Central Museum). To its left, a light green circle labeled "千葉県立郷土資料館" (Chiba Prefectural Local History Museum) is connected by a line labeled "郷土" (Local). Below it, a light blue circle labeled "千葉県立加曾利貝塚博物館" (Chiba Prefectural Kaganari Shell Mound Museum) is connected by a line labeled "原始史跡" (Prehistoric Site). To the right, a light green circle labeled "稲毛記念館" (Inamori Memorial Hall) is connected by a line labeled "郷土" (Local). Above the central circle is the title "中核博物館" (Core Museum). To the right of the central circle is the title "その他分野（公立）" (Other Fields (Public)). Below this title, four circles are arranged in a 2x2 grid: "千葉市科学館" (Chiba City Science Museum), "千葉市動物公園" (Chiba City Zoological Park), "千葉市美術館" (Chiba City Museum of Art), and "千葉県立美術館" (Chiba Prefectural Museum of Art). On the far left, a green box contains the title "千葉市の例" (Example of Chiba City) and the text "その他 札幌市、さいたま市、新潟市、名古屋市など" (Others: Sapporo City, Saitama City, Niigata City, Nagoya City, etc.).

千葉市の例

その他
札幌市、さいたま市、新潟市、名古屋市など

中核博物館

千葉県立郷土資料館 郷土

千葉県立中央博物館

稲毛記念館 郷土

千葉県立加曾利貝塚博物館 原始史跡

その他分野（公立）

千葉市科学館 千葉市動物公園

千葉市美術館 千葉県立美術館

静岡市の例

その他
仙台市、横浜市
相模原市、浜松
市など

文学/偉人

中勘助
文学記念館

包括的に地域の歴史を
取り扱う博物館

原始/史跡

静岡市
歴史博物館

静岡市立
登呂博物館

地域文化

みほしるべ

その他分野（公立）

静岡科学館
る・く・る

静岡市立
芹沢銈介
美術館

静岡近代
美術館

ふじのくに
地球環境史
ミュージアム

静岡市
美術館

The diagram illustrates the relationship between various museums in Hiroshima City and the central concept of an 'Inclusive Regional History Museum' (中核博物館). The central concept is represented by a dashed circle containing the text '中核博物館' and '包括的に地域の歴史を取り扱う博物館' (A museum that inclusively handles the history of the region). Below this central circle is the word 'なし' (None/Not). Surrounding the central circle are several museums, each in a solid circle, categorized by their focus area:

- 郷土 (Local):** 広島市郷土資料館 (Hiroshima City Local History Museum).
- 平和 (Peace):** 広島平和記念資料館 (Hiroshima Peace Memorial Museum).
- 史跡・偉人 (Historical Sites/Persons):** 頼山陽史跡資料館 (Tomiyama Mitsune Historical Site Museum).
- 中世・近世 (Middle Ages/Modern Era):** 広島城 (Hiroshima Castle).

Other museums are grouped under 'その他分野（公立）' (Other Fields (Public)):

- 広島市現代美術館 (Hiroshima City Modern Art Museum)
- 広島県立美術館 (Hiroshima Prefectural Museum of Art)
- 広島市こども文化科学館 (Hiroshima City Children's Museum of Culture and Science)
- 広島市安佐動物公園 (Hiroshima City Asa Zoological Park)
- 広島市森林公園 こんちゅう館 (Hiroshima City Forest Park Insect Museum)
- 他 (Others)

On the far left, a green box contains the text '広島市の例' (Example of Hiroshima City).

各都市の主要公立博物館の延床面積の比較（図表４）

各政令指定都市における人文社会系の中核博物館又は包括的に地域の歴史を取り扱う博物館を取り上げ、延床面積・総展示面積・総収蔵面積をまとめた。
各施設の平均と中央値を算出し、参考として広島市郷土資料館との比較を行った。

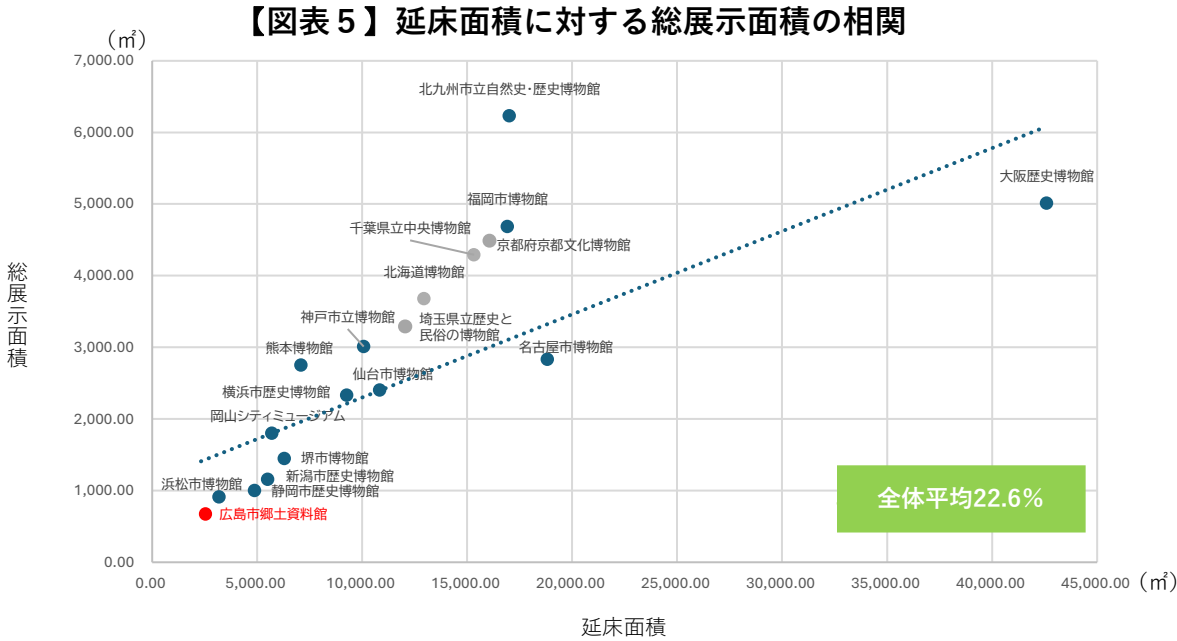
※有効回答が得られなかった相模原市は除く
※中核館未整備の川崎市は除く
※平均値・中央値に広島市郷土資料館は含まない

【図表４】政令指定都市の主要博物館の各種面積比較

設置者	人口 (人)	名称	延床面積 (㎡)	展示室			収蔵庫		
				総展示室面積 (㎡)	常設展示室面積 (㎡)	企画展示室面積 (㎡)	総収蔵庫面積 (㎡)	一般収蔵庫面積 (㎡)	特別収蔵庫面積 (㎡)
北海道	1,956,928	北海道博物館	12,947.00	3,676.00	3,011.00	665.00	2,392.00	1,977.00	415.00
仙台市	1,096,168	仙台市博物館	10,833.00	2,401.00	1,849.00	586.00	1,138.00	1,163.00	0.00
埼玉県	1,351,136	埼玉県立歴史と民俗の博物館	11,364.00	3,267.00	2,315.00	952.00	1,364.00	1,364.00	—
千葉県	984,598	千葉県立中央博物館	15,334.00	4,290.00	3,930.00	360.00	3,594.00	—	—
横浜市	3,752,969	横浜市歴史博物館	9,269.00	2,333.00	—	—	1,901.00	—	—
新潟市	766,259	新潟市歴史博物館 (みなとびあ)	5,508.00	1,158.00	840.00	318.00	1,000.00	318.00	84.00
静岡市	672,291	静岡市歴史博物館	4,885.86	1,001.47	820.47	181.00	561.26	453.15	108.11
浜松市	775,168	浜松市博物館	3,197.90	911.80	630.00	281.80	597.20	549.20	48.00
名古屋市	2,297,745	名古屋市博物館 ※リニューアル休館中	18,821.59	2,831.00	1,868.00	963.00	2,213.00	2,213.00	0.00
京都府	1,437,377	京都府京都文化博物館	15,854.00	4,496.00	1,736.00	881.00	418.00	418.00	0.00
大阪市	2,757,642	大阪歴史博物館	42,595.62	5,010.68	4,118.04	892.64	2,188.11	—	—
堺市	806,860	堺市博物館	6,292.00	1,449.00	1,173.00	276.00	1,313.26	1,017.74	295.52
神戸市	1,492,282	神戸市立博物館	10,073.10	3,012.60	1,004.70	1,285.30	989.00	—	—
岡山市	712,632	岡山シティミュージアム	5,697.71	1,800.00	882.49	687.64	276.35	276.35	0.00
北九州市	908,109	北九州市立 自然史・歴史博物館	17,011.86	6,232.00	5,723.00	509.00	2,506.00	2,435.00	71.00
福岡市	1,593,919	福岡市博物館	16,920.62	4,685.00	2,287.00	2,398.00	2,284.00	2,124.00	160.00
熊本市	737,409	熊本博物館	7,098.00	2,750.00	1,500.00	780.00	1,894.00	1,805.00	89.00
広島市	1,178,773	広島市郷土資料館	2,558.00	686.00	588.00	98.00	808.00	702.00	106.00
平均値			12,570.78	3,017.91	2,105.48	751.02	1,566.42	1,239.50	105.88
平均値（市立）			12,169.56	2,736.58	1,891.31	763.19	1,450.86	1,235.44	85.56
中央値			10,833.00	2,831.00	1,792.50	676.32	1,364.00	1,163.00	77.50
中央値（市立）			9,269.00	2,401.00	1,336.50	636.82	1,313.26	1,090.37	77.50

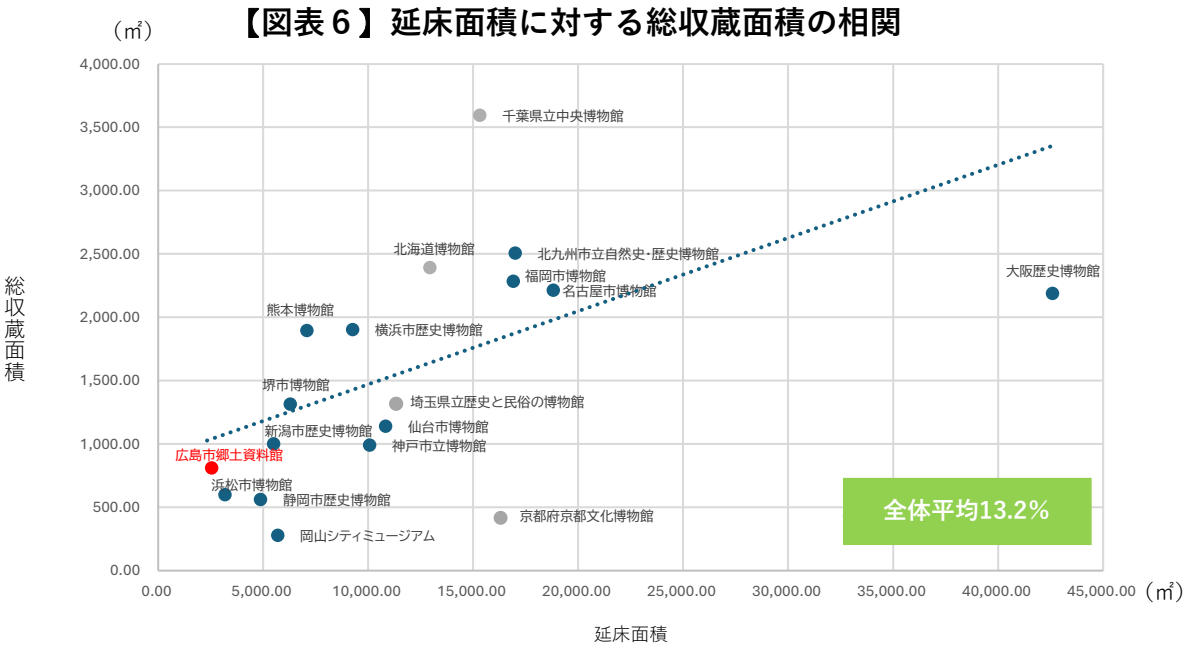
延床面積に対する展示面積の割合（図表５）

図表４で選定した施設を対象に、延床面積に対する総展示面積の比率を算出した。
平均すると延床面積の22.6%を展示面積として有する結果となった。



延床面積に対する収蔵面積の割合（図表６）

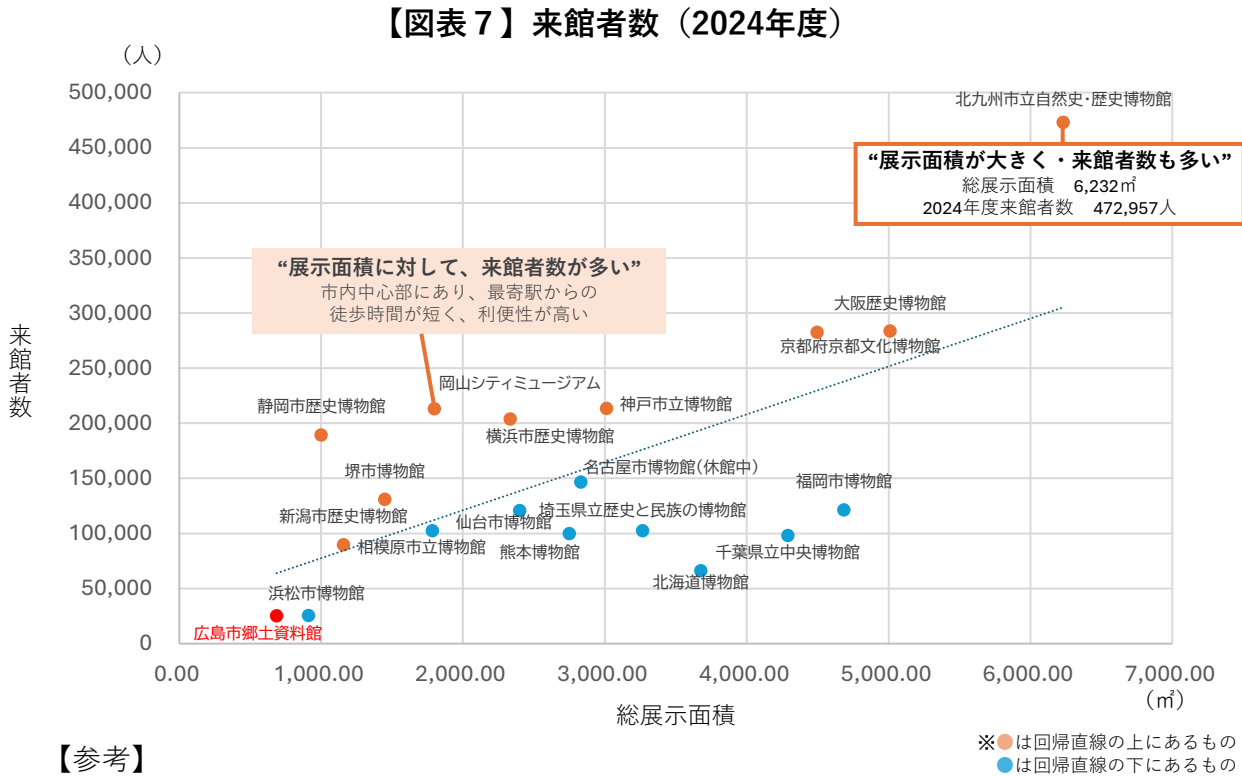
図表４で選定した施設を対象に、延床面積に対する総収蔵面積の比率を算出した。
平均すると延床面積の13.2%を収蔵面積として確保していることになるが、選定した施設の収蔵庫使用率の平均は103%であり、延床面積の平均では不足しているものと思われる。



総展示面積と来館者数（2024年度）の傾向（図表7）

政令指定都市における中核博物館又は包括的に地域の歴史を取り扱う博物館において、総展示面積と来館者数に因果関係は見られなかった。北九州市立自然史・歴史博物館については、展示面積が大きく、来館者数も多くなっているが、動植物標本や化石等の自然史系の大型展示も取り扱っている総合博物館であることなどにより広い面積を有している。

※大阪歴史博物館の来館者数は2023年度のもの



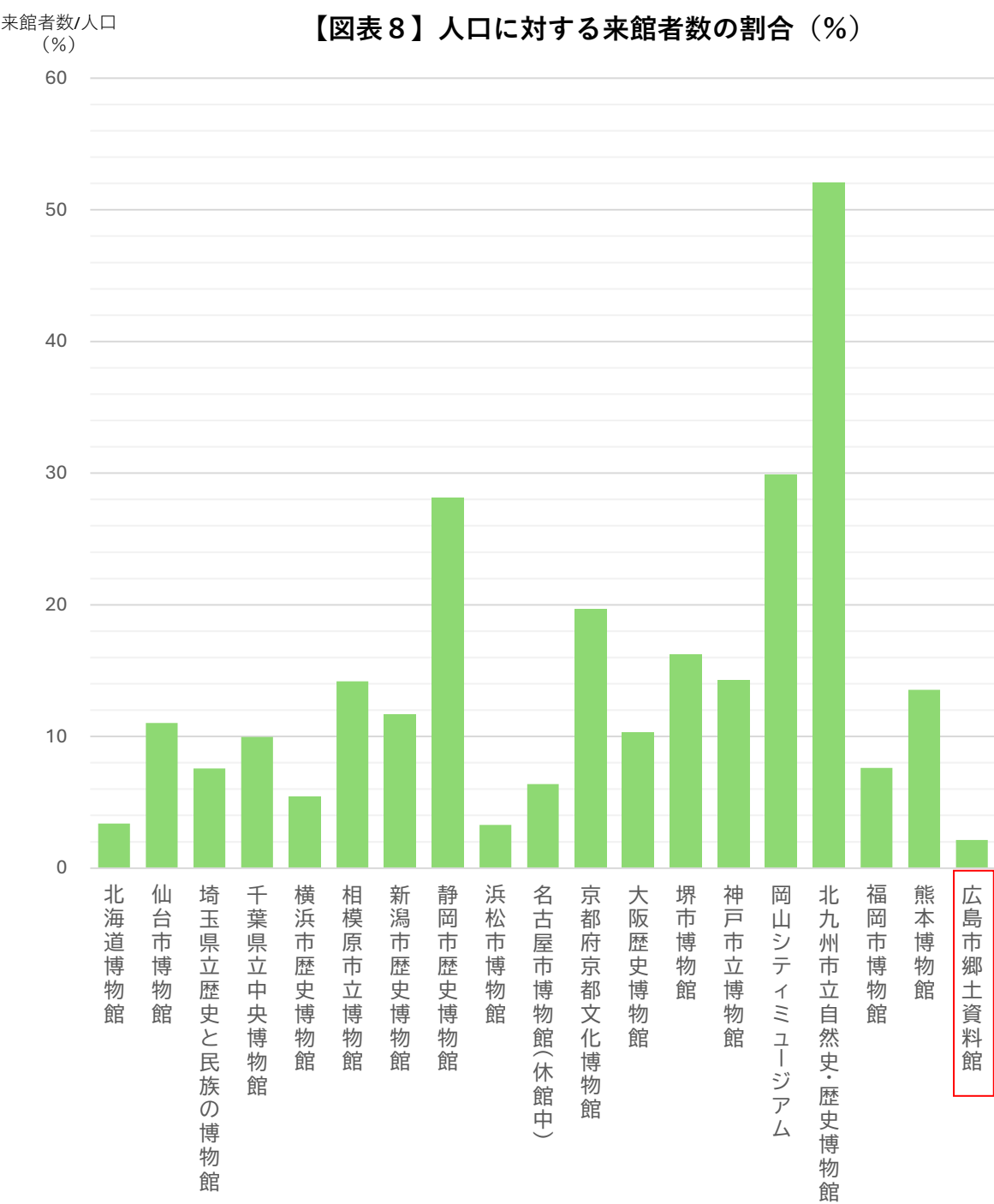
【参考】

名称	総展示室面積 (㎡)	2024年度来館者数 (人)	最寄駅からの徒歩時間(分)	駐車場 (台)	隣接駐車場
北海道博物館	3,676.00	66,184	15	[105]	北海道開拓の村
仙台市博物館	2,401.03	120,770	8	50	—
埼玉県立歴史と民族の博物館	3,267.00	102,384	5	15	—
千葉県立中央博物館	4,290.00	98,168	20	[120]	青葉の森公園北口
横浜市歴史博物館	2,333.00	203,571	5	100	—
相模原市立博物館	1,784.00	102,585	15	100	—
新潟市歴史博物館	1,158.00	89,442	25	100	—
静岡市歴史博物館	1,001.47	189,243	8	23	—
浜松市博物館	911.80	25,413	1	45	—
名古屋市博物館（休館中）	2,831.00	146,698	5	70	—
京都府京都文化博物館	4,496.00	282,332	3	0	—
大阪歴史博物館	5,010.68	283,531	1	[144]	NHK会館兼用
堺市博物館	1,449.00	130,743	10	100	—
神戸市立博物館	3,012.60	213,350	5	0	—
岡山シティミュージアム	1,800.00	213,071	3	0	—
北九州市立自然史・歴史博物館	6,232.00	472,957	5	300	—
福岡市博物館	4,685.00	121,412	15	130	—
熊本博物館	2,750.00	99,824	5	[350]	三の丸駐車場
広島市郷土資料館	686.44	25,197	5	13	—

人口に対する来館者数の比較（図表8）

図表7の施設を対象に、各都市の人口に対する来館者数の割合を比較した。最も割合が高いのは北九州市立自然史・歴史博物館で52%であった。次いで、岡山シティミュージアムが30%、静岡市歴史博物館が28%となった。

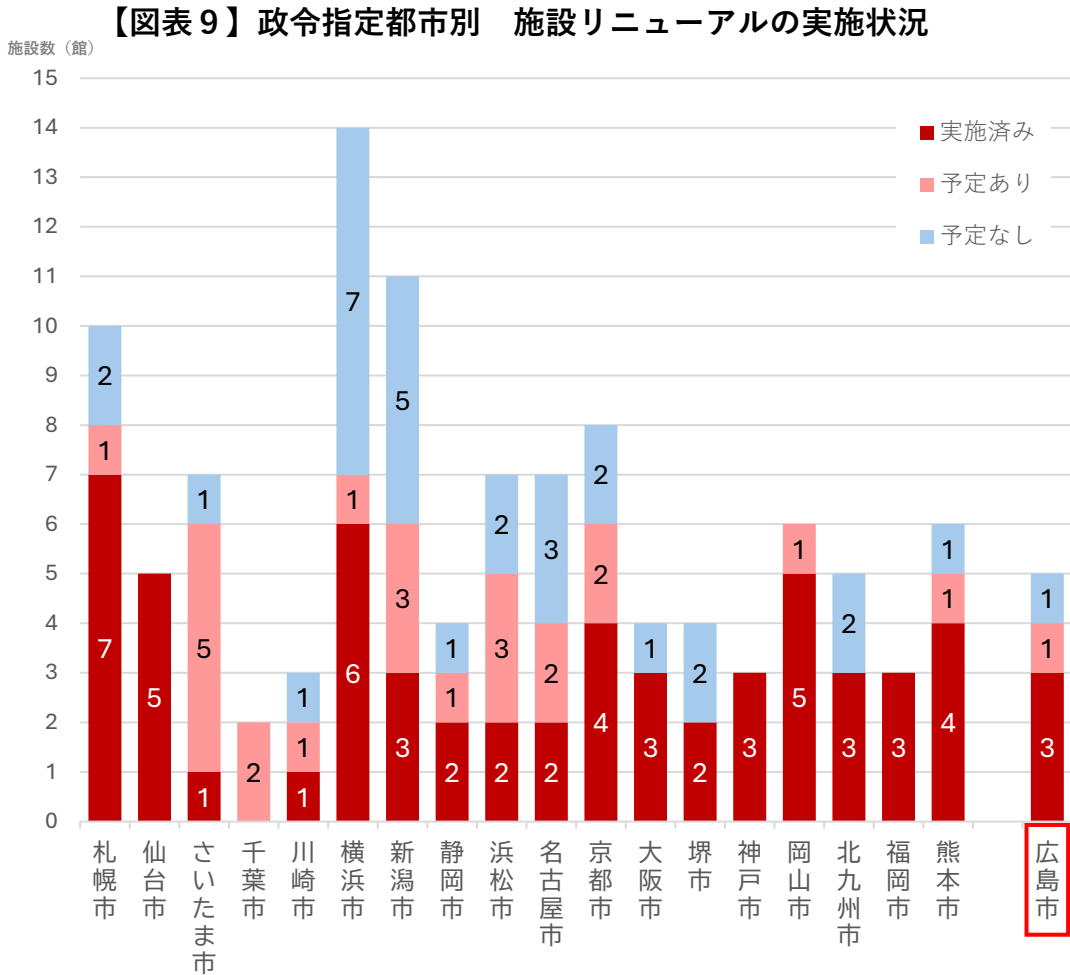
※川崎市は中核館未整備のため除く



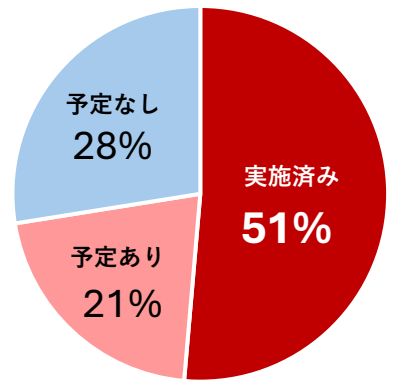
人文社会系博物館をめぐる近年のリニューアル状況（図表 9）

開館後のリニューアル状況を調査したところ、70%以上の施設が「すでにリニューアルを行った」又は「今後リニューアルの予定がある」と回答した。（広島市を含まない集計）

※有効回答が得られなかった博物館は除く
※政令指定都市全体の集計に広島市は含まない



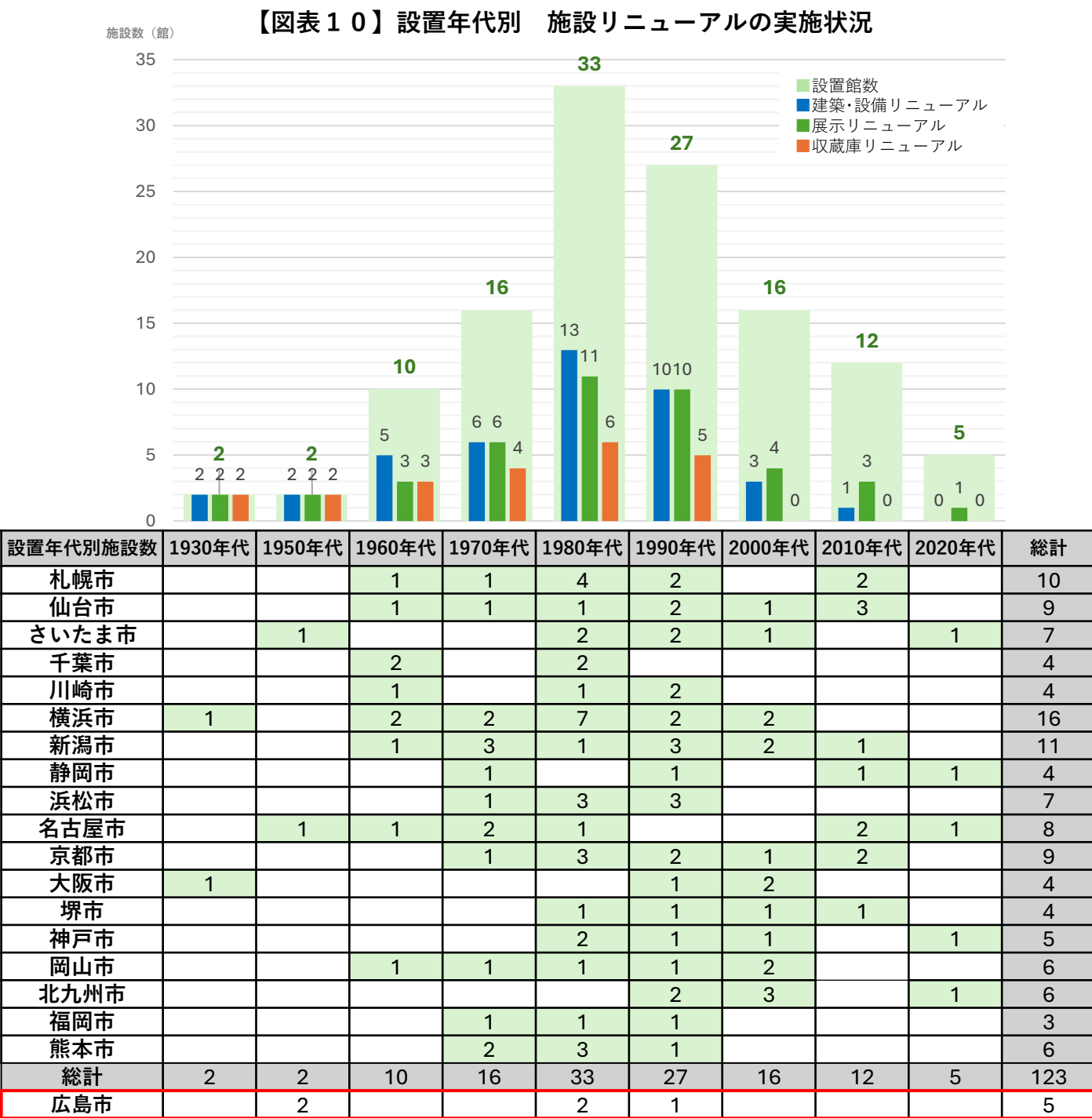
政令指定都市全体(広島市を除く)



人文社会系博物館をめぐる近年のリニューアル状況（図表 1 0）

図表 1 0 は、すでにリニューアルを実施した博物館について、実施内容を設置年代別に整理したグラフである。最も多く博物館が設置されたのは1980年代であり、そのうち建築設備のリニューアルを行ったのは13件、展示リニューアルが11件という結果になった。

※リニューアルについては、実施内容によって複数回答がある又はなしと回答した施設があるため、設置年代別施設数と一致しない
※有効回答が得られなかった博物館は除く
※集計・グラフに広島市は含まない



広島県内の人文社会系博物館の来館者数及び延床面積比較（図表１１）

広島県内の人文社会系博物館について、「令和6年度広島県生涯学習振興・社会教育行政基礎調査」の対象となる博物館施設のうち、開館日数200日以上・令和5年度の年間来館者数100人以上の博物館施設を選定し、来館者数・延床面積・総展示面積・総収蔵面積をまとめた。（図表１１）

一部の大規模館（延床面積5,000㎡以上）を除くと、**多くが延床面積2,000㎡未満**の施設である。

※有効回答が得られなかった呉市(一部)、尾道市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町の施設は除く
※平均値・中央値に広島市郷土資料館は含まない

【図表１１】広島県内の人文社会系博物館の来館者数及び各種面積比較

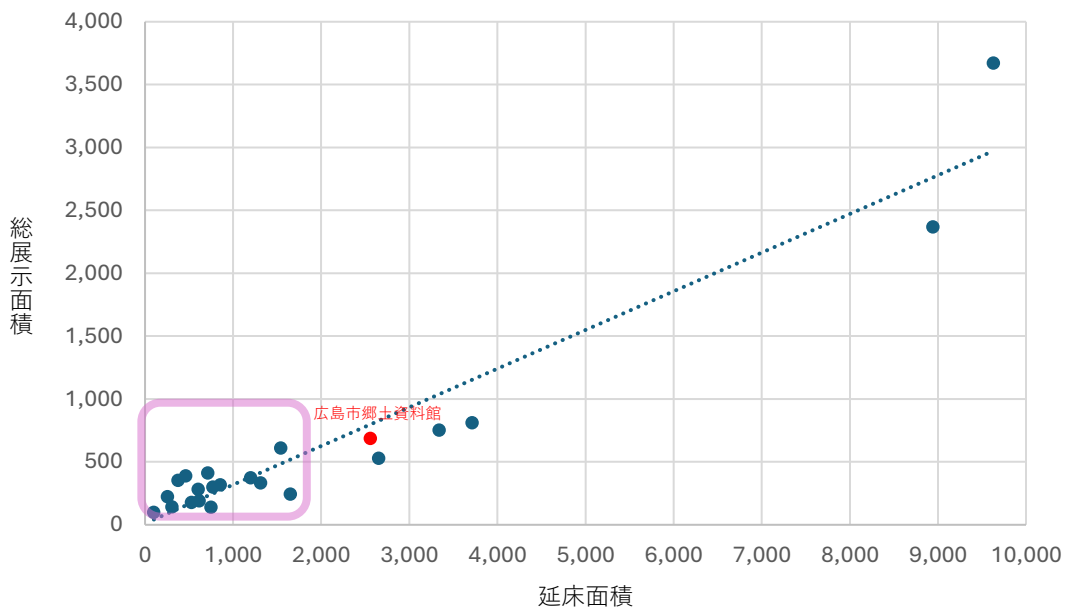
名称	設置者	2024年度 来館者数 (人)	延床面積 (㎡)	展示面積			収蔵庫面積		
				総展示面積 (㎡)	常設展示室面積 (㎡)	企画展示室面積 (㎡)	総収蔵庫面積 (㎡)	一般収蔵庫面積 (㎡)	特別収蔵庫面積 (㎡)
広島県立歴史民俗資料館 (みよし風土記の丘ミュージアム)	広島県	37,262	3,712	811	557	255	543	446	97
広島県立歴史博物館 (ふくやま草戸千軒ミュージアム)	広島県	52,295	8,941	2,368	1,852	516	1,218	1,081	137
倉橋歴史民俗資料館	呉市	765	306	141	141	0	42	0	42
長門の造船歴史館	呉市	1,280	1,200	374	281	94	78	78	0
呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム)	呉市	719,651	9,628	3,673	3,673	0	-	-	-
竹原市歴史民俗資料館	竹原市	12,591	254	223	223	0	-	-	-
三原市歴史民俗資料館	三原市	3,142	1,651	243	243	0	145	145	0
福山市立福山城博物館	福山市	137,597	2,652	529	296	233	418	20	398
福山市しんいち歴史民俗博物館	福山市	3,765	605	282	174	108	379	352	27
ふくやま文学館	福山市	35,597	1,541	610	472	138	77	-	-
鞆の浦歴史民俗資料館	福山市	15,855	1,311	334	0	341	228	40	150
福山市神辺歴史民俗資料館	福山市	2,982	616	190	190	0	47	47	0
菅茶山記念館	福山市	8,030	750	139	139	0	120	120	0
府中市歴史民俗資料館	府中市	1,767	464	390	162	229	9	9	0
府中市上下歴史文化資料館	府中市	10,982	713	412	263	148	32	32	0
三次市歴史民俗資料館 (辻村寿三郎人形館)	三次市	4,901	247	318	0	318	-	-	-
吉舎歴史民俗資料館	三次市	2,210	527	179	150	29	59	49	10
府中町歴史民俗資料館	府中町	37,333	375	352	298	38	107	107	0
海田町ふるさと館	海田町	6,287	770	300	132	85	47	47	0
織田幹雄記念館	海田町	12,865	100	100	100	0	47	47	0
筆の里工房	熊野町	55,672	3,338	752	406	346	252	182	70
広島市郷土資料館	広島市	25,197	2,558	686	588	98	808	702	106
平均値			1,891	606	464	137	214	165	116
中央値			750	334	224	94	92	49	84

展示面積・収蔵面積の分布（図表１２・１３）

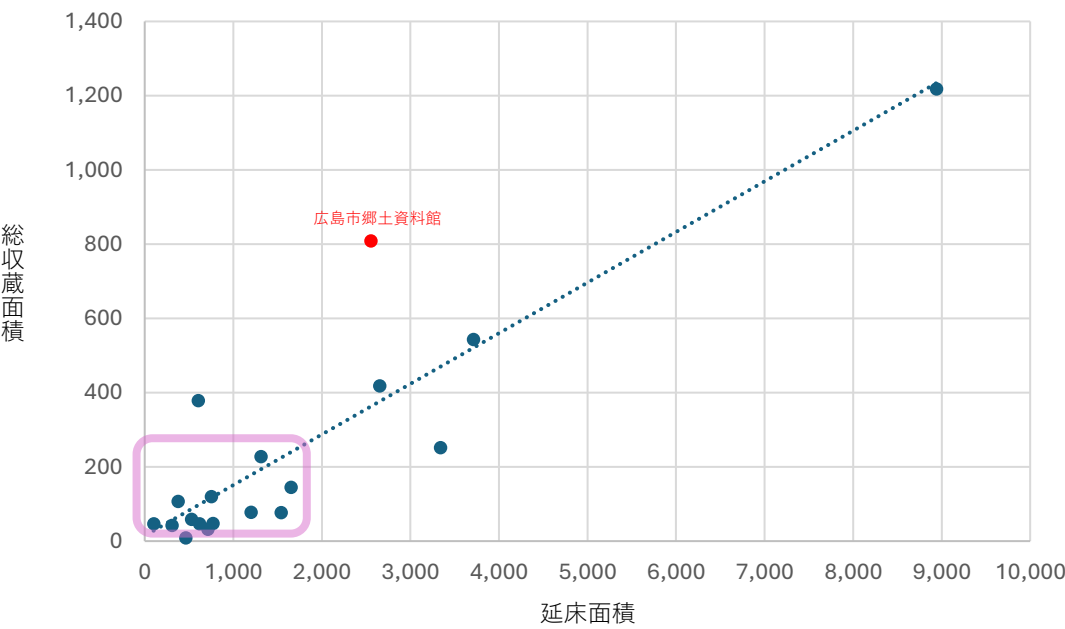
広島県内の人文社会系博物館における**展示面積・収蔵庫面積ともに、小規模の施設が多い傾向が見られた。**

※有効回答が得られなかった市町の施設は除く

【図表１２】延床面積に対する総展示面積の相関



【図表１３】延床面積に対する総収蔵面積の相関



広島県内における人文社会系博物館施設の傾向（図表１４）

「令和6年度広島県生涯学習振興・社会教育行政基礎調査」の対象となる博物館施設のうち、人文社会系テーマを取り扱う博物館施設について、延床面積と展示内容から傾向を分析した。

分類にあたっては、延床面積を2,000㎡未満を「小規模」、2,000～5,000㎡を「中規模」、5,000㎡以上を「大規模」とした。

また、展示内容について、限定的な地域の歴史や民俗資料を扱う施設を「地域型」、特定の偉人や分野に関する専門的な展示を行う施設を「テーマ型」とした。

結果、最も多いのは「小規模・地域」型の博物館であり、その多くが開館日数200日未満・令和5年度の年間来館者数100人未満の施設であった。一方で「大規模」の施設は、広島県立歴史博物館、呉市海事歴史科学館があるものの、県内各地の博物館の中核として位置づけられる施設は存在していない。



凡例

大規模・テーマ

中規模・テーマ

小規模・テーマ

小規模・テーマ

開館日数200日未満かつ
令和5年度年間来館者数100人未満

小規模・地域

小規模・地域

開館日数200日未満かつ
令和5年度年間来館者数100人未満

	施設名称	設置者	主な展示テーマ	分類
21	三次市歴史民俗資料館（辻村寿三郎人形館）	三次市	世界的な活躍をしている人形作家辻村寿三郎氏の常設展示館を運営することにより、寿三郎芸術の伝承とその普及及び地元商店街への観光客誘致を図り、芸術活動及び経済活動面での地域活性化に寄与する。	小規模・テーマ
22	吉舎歴史民俗資料館	三次市	三次市吉舎町に関係する考古及び民俗資料を常設展示し、主に三次市域の歴史・民俗にスポットを当てた企画展示を開催。	小規模・地域
23	三和郷土資料館	三次市	三和町を中心とした地域の多様な農村文化をわかりやすく展示することを目的とした資料館。 展示室では、当時の生活様式がわかるように民具が展示され、特別展示室では周辺地域から出土した埴輪や土器などの展示も行い、古代から現代までの時の流れを感じながら観覧できる。	小規模・地域
24	三良坂民俗資料館	三次市	－	小規模・地域
25	中村憲吉記念文芸館	三次市	歌人・憲吉の46年の生涯を、作品集や直筆の書簡、写真などとともに振り返ることができる。 母屋とのちに憲吉が歌友接待のために増築した客殿からなり、内庭に見事な庭園が広がる。	小規模・テーマ
26	山代巴記念室	三次市	「荷車の歌」で知られる作家山代巴の記念室。直筆の原稿や書物、愛用した遺品など新年の道筋を垣間見る。	小規模・テーマ
27	庄原市歴史民俗資料館（庄原市田園文化センター）	庄原市	旧庄原市内の資料を中心に、古代・中世・近世・民俗資料を展示しています。 一角には、小説家「火野葦平」資料室を設置し、葦平の作品と、庄原市出身の葦平の母「マン」に関する資料を展示。	小規模・地域
28	倉田百三文学館（庄原市田園文化センター）	庄原市	庄原が輩出した作家「倉田百三」に関する資料を展示しています。 直筆原稿のほか、書簡や写真、愛用品など、貴重な資料を約200点展示しており、倉田の生涯とその文学に触れる。	小規模・テーマ
29	庄原市口和郷土資料館	庄原市	口和町内で使用された歴史・民族資料を収集し、かつての地域の暮らしを後世へ語り継ぐ展示施設として昭和55年に開設。現在は近代文化財や未来技術遺産ともいわれる音響や映像に関する機器を展示するとともに修復された音響・映像機器に触れることができる動態展示が楽しめる。	小規模・地域
30	庄原市帝釈峡博物館展示施設 時悠館	庄原市	石灰岩の岩陰を高度に利用した帝釈名越岩陰遺跡の縄文後期の暮らしの場を復元し、同岩陰で検出した縄文人女性の埋葬状況を実物資料で再現。 また、たたら製鉄を中心とする各種資料、石灰岩地域固有の動植物、重要無形民俗文化財「比婆荒神神楽」「塩原の大山供養田植」等の民俗文化財を紹介しています。	小規模・テーマ
31	東広島市三永歴史民俗資料館	東広島市	農具や生活用具を中心に収集・展示。いろりやかまどを復元し、東広島市の生活と社会の変化を知ることができる。	小規模・地域
32	東広島市八本松歴史民俗資料館	東広島市	「生産」をテーマに、東広島の産業の象徴と生活を考える場として開館。土器・瓦類の考古資料、養蚕・製糸・鍛冶・酒造・農耕などの生産用具、小谷焼・竹細工の工芸用具を展示。	小規模・地域
33	東広島市安芸津歴史民俗資料館	東広島市	広島杜氏の生みの親であり、吟醸酒誕生に深い関わりを持つ三浦仙三郎にゆかりのある資料を展示。 また、酒造りや安芸津の赤土を原料としたレンガ造りなど、安芸津町の産業についての資料を見ることができ。	小規模・地域
34	河内町民俗資料展示室	東広島市	平成5年に閉校した旧宇山小学校の教室を活用した展示室には、河内町内とその周囲の地域で使われていた農業、林業、漁業、畜産業、製糸業、製茶など各種生産用具を中心に約200点の民俗資料を展示。 展示品を通じて、近世から近代にかけての典型的な農村を見渡すことができる。	小規模・地域
35	豊栄町民俗資料展示室	東広島市	豊栄町内で使われていた民俗資料を約600点展示する。 当時の生活用具や生産用具に触れることにより、懐かしさを感じるだけでなく、郷土の歴史や文化に対する認識を深めることができる。	小規模・地域
36	旧木原家住宅	東広島市	江戸時代の寛文5（1665）年に建てられた旧木原家住宅。西日本でも一、二を争うほど古い町家で、国の重要文化財に指定。	小規模・テーマ
37	旧石井家住宅	東広島市	旧石井家住宅は、西条四日市の西国街道沿いにあった江戸時代の町家。現在は西条町下見に移築され、建屋内部を見ることができる。市の重要文化財に指定。	小規模・テーマ
38	三ツ城古墳ガイダンスコーナー	東広島市	史跡三ツ城古墳を紹介するため、平成6年4月に、古墳の東に隣接する中央図書館内に開設。 説明パネルや映像資料、築造中の古墳模型のほか、三ツ城古墳から出土した鏡や玉類などの副葬品や埴輪、市内の古墳から出土した三角縁神獣鏡や玉類、土器などを展示。	小規模・テーマ
39	宮島歴史民俗資料館	廿日市市	宮島の町衆の生活に根ざした生活用具、生産用具、その他の民具など失われつつあった貴重な民俗資料だけでなく、全国的に散逸している宮島に関係ある歴史資料も収集・調査・研究し、保存・継承する。	小規模・地域
40	佐伯歴史民俗資料館	廿日市市	佐伯の歴史と民俗を紹介する資料館。当時使用されていた農具や民具の展示のほか、貴重な資料が展示されている。小田家文書も収蔵。	小規模・地域
41	吉和歴史民俗資料館	廿日市市	旧吉和村内で出土した旧石器時代の石器、縄文・弥生時代の土器・石器、須恵器をはじめ、民俗資料として先祖の生活様式がうかがえる林業器具などを収集・展示。	小規模・地域
42	安芸高田市歴史民俗博物館	安芸高田市	毛利氏関係の社寺奉納資料、郡山城跡・城下町出土遺物、その他市内の歴史・民俗資料を収蔵。歴史展示は、通史ゾーン・毛利元就コーナー・郡山城解説コーナー等があり、そのほか映像コーナーでは、安芸高田の歴史・無形民俗文化財解説、古文書解説がある。	小規模・地域

凡例

大規模・テーマ

中規模・テーマ

小規模・テーマ

小規模・テーマ

開館日数200日未満かつ
令和5年度年間来館者数100人未満

小規模・地域

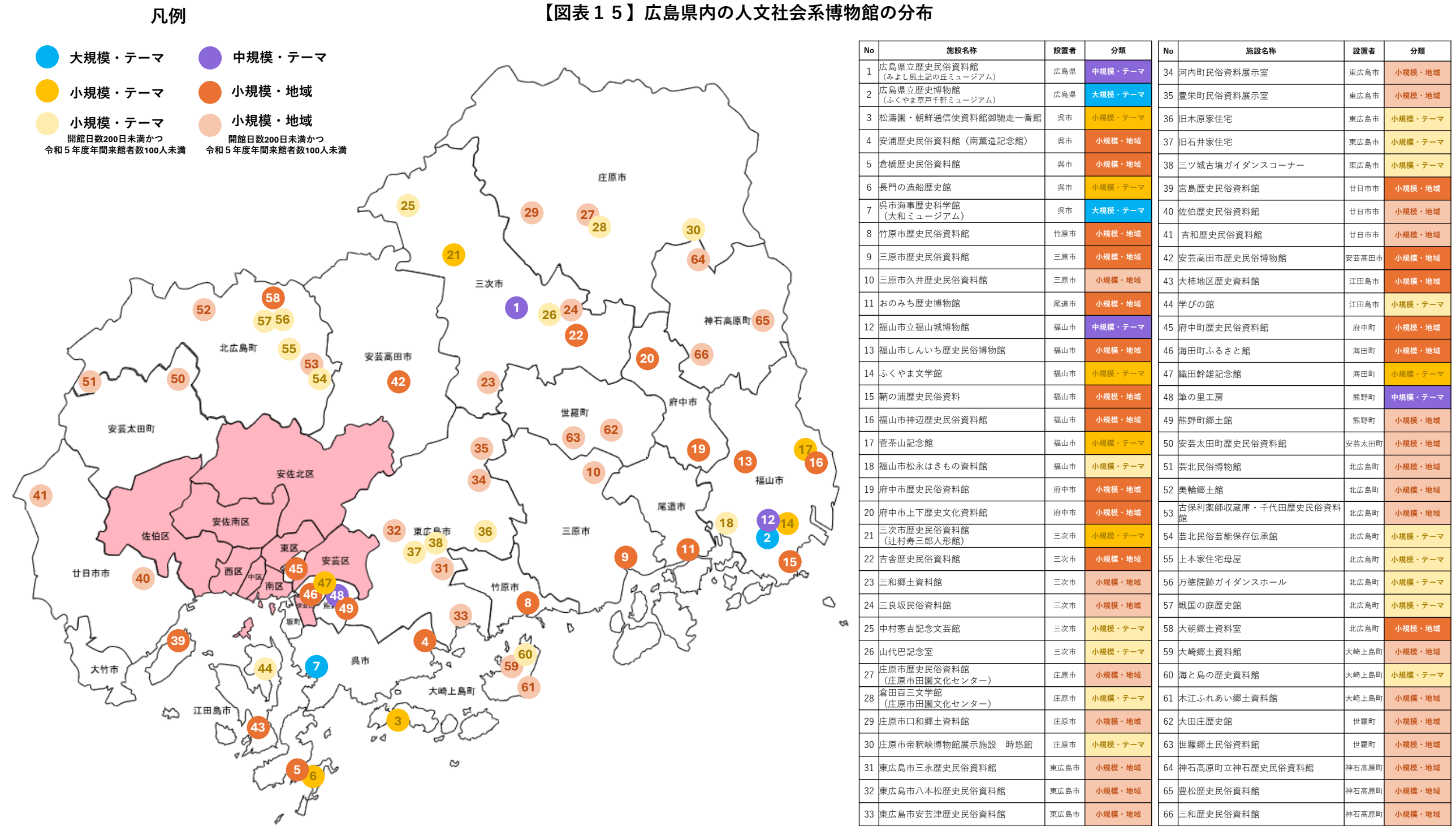
小規模・地域

開館日数200日未満かつ
令和5年度年間来館者数100人未満

	施設名称	設置者	主な展示テーマ	分類
43	大柿地区歴史資料館	江田島市	大柿町が長い歳月歩んだ足跡を、後世に伝えるとともに、継承された数多くの文化財の保存を目的とした歴史資料館。江戸末期の大柿町に残された文化財及び歴史資料、本町出身で漆工芸界の先駆者である六角紫水先生の作品を展示。	小規模・地域
44	学びの館	江田島市	久枝家旧宅（既存）の一部を活用した施設で、郷土ふれあい体験学習、風俗資料の展示等を行う。 常時展示としては、中でも唐草と鳳凰を配した「八稜鏡」をはじめ、寄贈品を中心に約40点を展示。	小規模・テーマ
45	府中町歴史民俗資料館	府中町	「府中町の自然」「府中町のあゆみ」「府中町の暮らしと文化」を柱にそれぞれに関連する資料を展示。	小規模・地域
46	海田町ふるさと館	海田町	海田町のなりたちに関する資料（縄文、弥生、古墳時代の遺物等）、各時代の町民に関する資料（農耕具等）、海田町名誉町民・加藤陽三氏町民栄誉賞・三村敏之氏、大下剛史氏に関する資料を展示。	小規模・地域
47	織田幹雄記念館	海田町	海田町出身で、日本人初のオリンピック金メダリスト織田幹雄の足跡をたどる記念館。織田幹雄の「人間力」の一端を、幼少期から晩年までの様々な資料や映像、グラフィックなどにより体感できる展示内容としている。	小規模・テーマ
48	筆の里工房	熊野町	世界一の大筆伝統工芸士による筆づくり実演筆の歴史展示のほか、筆の織り成す芸術、文化（書、絵画工芸化粧品）の拡がり进行展示・体験により紹介。	中規模・テーマ
49	熊野町郷土館	熊野町	日本一の筆の産地として君臨する筆の都熊野町ならではの伝統と歴史を現代に紹介する施設。 熊野町の歴史を記す考古資料や昔なつかしい生産生活用具、熊野筆など多くの展示物で筆の都熊野町を詳しく知ることができる。	小規模・地域
50	安芸太田町歴史民俗資料館	安芸太田町	山や川や里の中で培われた数々の道具などを展示。広島県指定重要文化財「紙本著色隅屋鉄山絵巻」複製などの貴重な資料もあります。	小規模・地域
51	芸北民俗博物館	北広島町	ダム建設により「聖湖」湖底に没した樽床集落及び周辺地域で、昭和30年代に収集された生活用具を収蔵展示する資料館。ダムの水没地から移築した、「中門造り」の民家も併設。	小規模・地域
52	美輪郷土館	北広島町	「美和村史」が発刊された際、町内外から数多くの資料が集められた。美和郷土館はこれらの資料を保存するために建てられた。美和地域はたたら製鉄で栄えた地域であり、収集された資料の中には、たたら製鉄に関するものが多い。	小規模・地域
53	古保利薬師収蔵庫・千代田歴史民俗資料館	北広島町	国の重要文化財12体を収蔵する古利薬師収蔵庫と、収蔵庫に隣接して設置された歴史民俗資料館の2棟からなる施設。収蔵庫にはいずれも平安初期の、半丈六薬師如来坐像・両脇侍立像3体・千手観音立像・吉祥天立像・四天王立像のほか、鎌倉期の十二神将などを収蔵。	小規模・地域
54	芸北民俗芸能保存伝承館	北広島町	1階では、春夏秋冬の農作業の流れに沿って、それぞれの季節ごとの民俗芸能を紹介する。民俗芸能やその背景にある農村の暮らしの道具を展示。2階では、芸北地方の民俗を研究された新藤久人氏の収集品の一部を展示。	小規模・テーマ
55	上本家住宅母屋	北広島町	江戸時代後期の上層農民の主屋。柱には明治4年（1871）の武一騒動の時のナタの跡等が残る。	小規模・テーマ
56	万徳院跡ガイダンスホール	北広島町	天正2（1574）年に吉川元長（毛利元就の孫）が建立した万徳院跡に併設されたガイダンスホール。	小規模・テーマ
57	戦国の庭歴史館	北広島町	小倉山城、万徳院跡、吉川元春館跡の発掘調査成果や整備内容・出土品を中心に展示。	小規模・テーマ
58	大朝郷土資料室	北広島町	原始・古代の大朝、中世の大朝、近世の大朝、ふるさとの芸能と自然。	小規模・地域
59	大崎郷土資料館	大崎上島町	－	小規模・地域
60	海と島の歴史資料館	大崎上島町	廻船問屋だった豪商の家を保存・改修し、資料館として公開。魅力ある島の文化と歴史を体感。	小規模・テーマ
61	木江ふれあい郷土資料館	大崎上島町	大崎上島のルーツから現代までを写真パネル、マキハダ工場の再現、特産品展示等で説明。	小規模・地域
62	大田庄歴史館	世羅町	広島県史跡今高野山の境内にある歴史館。平安時代に始まり約300年間隆盛を誇った中世庄園備後国大田庄のことはもとより、原始・古代からの歴史的背景を含めて紹介。	小規模・地域
63	世羅郷土民俗資料館	世羅町	－	小規模・地域
64	神石高原町立神石歴史民俗資料館	神石高原町	帝釈峡遺跡群のひとつである観音堂洞窟遺跡からの出土品及び神石牛に関する資料や民俗資料を展示公開。	小規模・地域
65	豊松歴史民俗資料館	神石高原町	－	小規模・地域
66	三和歴史民俗資料館	神石高原町	－	小規模・地域

広島県内における人文社会系博物館の分布（図表 1 5）

図表 1 4 に基づき、県内の人文社会系博物館の分布を整理した。前述のとおり、本県には中核博物館として位置づけられた施設がなく、各地に博物館が点在している。また、本市の周辺に目を向けると、隣接する市町（特に東広島市・廿日市市・安芸太田町・北広島町）においては、開館日数や来館者数が少ない小規模館が多く、包括的に地域の歴史を取り扱う博物館も存在しない。



分析結果を基に、本市における博物館施設の現状と課題を以下のとおり整理する。

まとめ1 博物館の数と構成

政令指定都市との比較（P.10、11）

本市における人文社会系博物館の数は、**政令指定都市の平均を下回っている状況**にある。

また、**多くの都市が中核博物館や包括的に地域の歴史を取り扱う博物館を有している**のに対し、**本市にはどちらも存在せず、特定の時代や分野を専門的に扱うテーマ館が点在しており、現状、地域の歴史を不足なく伝える施設構成だ**とはいい難い。

広島県内での比較（P.16～19）

広島県内には郷土史や地域の民俗を扱う小規模館が点在している状況であり、大規模な博物館は特定のテーマを取り扱ったものとなっているため、**中核博物館や包括的に地域の歴史を取り扱う博物館は設置されていない**。

さらに、県内の博物館の**多くが年間開館日数200日・来館者数100人に満たない状況**であり、これらの状況も視野に入れた施設整理やネットワークづくりが望まれる。

まとめ2 博物館の規模

政令指定都市との比較（P.12）

他の政令指定都市の中核博物館や包括的に地域の歴史を取り扱う博物館は、**延床面積10,000㎡程度の施設が多く、調査・研究や生涯学習の拠点として十分な施設規模を有している**。一方、本市は中核博物館等を有しておらず、大規模な施設が望まれる。

広島県内での比較（P.15）

広島県内の博物館は、延床面積2,000㎡未満の小規模館が大半を占めている。これらは開館日数や来館者数が少ないことも踏まえ、**効率的な施設管理が望まれる**。

まとめ3 来館者数

政令指定都市との比較（P.13）

政令指定都市の主要な歴史博物館と比較すると、**郷土資料館は来館者数が少ない。**

博物館の来館者数は、交通の利便性や周辺の施設といった環境的要因と、展示の訴求力や市民活動の状況などの博物館的要因等の要素が複合的に関係すると考えられるため、今回の調査のみでは、来館者数に影響を及ぼす明確な要因は判明しなかった。

まとめ4 リニューアル状況

政令指定都市との比較（P.14）

政令指定都市の人文社会系博物館のうち**70%以上の施設が「すでにリニューアルを行っている」**又は「**リニューアルを予定**」していると回答しており、郷土資料館の開館と同年代の**1980～90年代の施設でも既に建築設備や展示のリニューアルを実施している施設がみられる。**

保存環境について

名称	収蔵庫面積	使用開始年度	主な収蔵品	収蔵資料点数計
可部収蔵庫	1,662 ㎡	平成2年度	移民関係資料 大型資料など	25,707

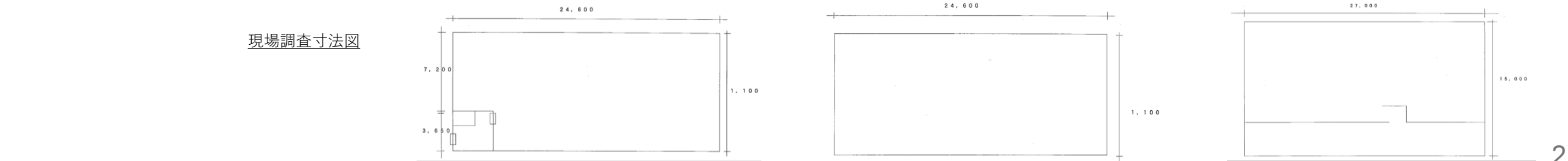
収蔵庫状況の課題と検討事項

収蔵庫A・収蔵庫B・収蔵庫Cと資料の大きさ、用途によって分類され収蔵されている。
資料調査員がいることで資料整理がなされており乱雑ではなく、管理下に置かれた状況となっている。
収蔵状況としてはほぼ100%の状況となっており、収蔵庫によっては収納什器の他床置き of 資料が所々にみられる状況である。
施設の老朽化、シャッターの形状などから外部から埃や枯葉等の侵入が見られる。

保存環境

空調がないため、温度湿度は季節によって変動する。

区分	No	項目	収蔵庫A	収蔵庫B	収蔵庫C
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100%にて表示、100%を超える状況は 棚に置ききれず床置きの状況を示す)	100%	100%	120%
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	移民関係資料・大型資料を収蔵する 収蔵庫Aは民具を棚置き、収蔵庫Bは主に大型を平置き、収蔵庫Cは中二階にて保管、大型資料は平置きである		
	3	年間の収蔵品の増加率	公には募集していないが、市の受け入れ基準を満たした資料を受け入れる		
	4	作品リストの管理状況について	広島市にてデータベースを有する		
	5	収納物の収納状況について	収納什器に整理され保管	大型が多く床置き保管	中二階を有しており、小型は棚へ大型は平置き
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	空調無しのため、外気に影響	空調無しのため、外気に影響	空調無し 中2階1層目は湿度が高い状況
	2	現収蔵庫の空気質	不明	不明	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	季節により虫・カビの報告あり	季節により虫・カビの報告あり	季節により虫・カビの報告あり
収蔵庫 設備	1	現収蔵庫扉について	スチールサッシ・シャッター	スチールサッシ・シャッター	スチールサッシ・シャッター
	2	現収蔵庫の内装材	プレハブ外装に内側ベニヤ張り	プレハブ外装に内側ベニヤ張り	プレハブ外装 内装仕上げ無し
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	スチール棚	スチール棚	スチール棚
	2	現収蔵棚の使用状況	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	天井つなぎ 落下防止ベルト無し	天井つなぎ 落下防止ベルト無し	天井つなぎ 落下防止ベルト無し
空調・電気 設備	1	現在の機器設備について	空調無し	空調無し	空調無し
	2	空調に関する課題や困りごと	空調がないため、温度管理・湿度管理が難しい	空調がないため、温度管理・湿度管理が難しい	空調がないため、温度管理・湿度管理が難しい
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されてない	施設照明がLED化されてない	施設照明がLED化されてない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに 出ている資料等がある場合の対応について	定期的に燻蒸作業を実施 小規模なものは個別に清掃・クリーニング		
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注
その他	1	その他お困りごと	施設老朽化に伴い隙間が生じている	施設老朽化に伴い隙間が生じている	施設老朽化に伴い隙間・建物に傾きが生じている



収蔵状況について

名称	写真	実物	地図図面	参考図書	文書	録音	映像	収蔵資料 点数計
可部収蔵庫		21,799 (2,241)	28 —	1,334 —	2,479 (132)	66 —	1 —	25,707 (2,373)

※カッコ内は総数に占める移民資料の数



外観：左が収蔵庫A 右が収蔵庫B



外観：収蔵庫C



収蔵庫B 床置き大型民具



収蔵庫B 床置き大型機械



収蔵庫A 床置き資料



収蔵庫A 棚置き・床置き状況



収蔵庫B 棚置き資料



収蔵庫C 中二階上層



収蔵庫A 棚置き大型資料



収蔵庫A 床置き大型資料



収蔵庫C 中二階下層



収蔵庫C 平置き大型資料

保存環境について

名称	収蔵庫面積	使用開始年度	主な収蔵品	収蔵資料点数計
高陽収蔵資料室	806㎡	平成30年度	文書資料・音声 動画資料など	23,128

収蔵庫状況の課題と検討事項

資料室1は展示を兼ねている室にて実物を平置き展示かつ収蔵をしている状況である。資料室2は作業室を兼ねており、作業するための資料を什器にて保管している状況である。

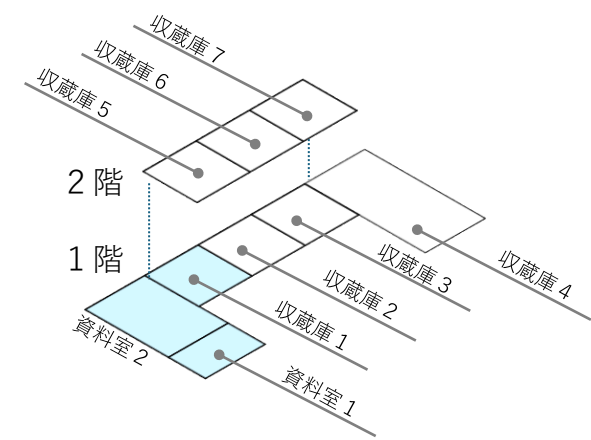
高陽収蔵資料室は他の収蔵庫よりも環境が良いとのことで、整理した資料を今後収納する予定の為、全体的に収蔵状況はまだ余剰を持っており、収納什器に整理された収納がなされている。

収蔵状況は50％前後となっており、今後も資料を整理収納できる余剰を有している。

施設は廃校となった幼稚園を有効利用しており、引き違いのガラス戸から出入りする形となる。

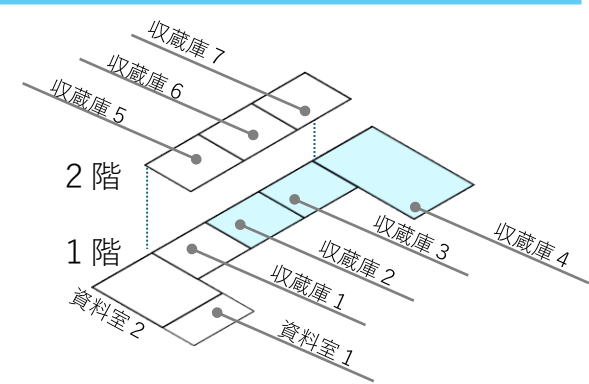
保存環境

資料室2は空調機（天井吊り式エアコン）を有していたが、それ以外の室は送風機（天井付扇風機）もしくは送風機がない環境である為、温湿度は季節によって変動する。 ※8月21日温度計にて33.1度を確認（収蔵庫4・収蔵庫7）



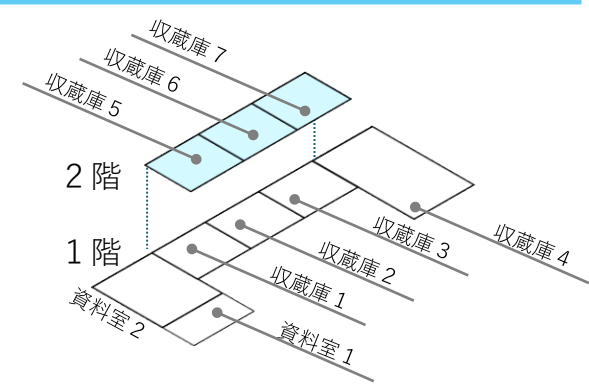
区分	No	項目	資料室 1	資料室 2	収蔵庫 1
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100％にて表示、100％を超える状況は 棚に置ききれず床置き状況を示す)	80%	80%	25%
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	筆筒など木製家具を平置き（展示室も兼ねる）	広島に縁のある資料、カーブ資料他 什器に収納	家電関連資料 什器に収納
	3	年間の収蔵品の増加率	公には募集していないが、市の受け入れ基準を満たした資料を受け入れる		
	4	作品リストの管理状況について	広島市にてデータベースを有する		
	5	収納物の収納状況について	平置き展示・収納	作業室を兼ねており、スチール棚に整理収納	スチール棚に整理され収納
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	34.2℃ 湿度不明	32.3℃ 湿度不明	空調無しのため外気影響
	2	現収蔵庫の空気質	不明	不明	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	季節により報告あり	季節により報告あり	季節により報告あり
収蔵庫 設備	1	現収蔵庫扉について	ガラス窓付き引き違い扉	ガラス窓付き引き違い扉	ガラス窓付き引き違い扉
	2	現収蔵庫の内装材	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板	床：ビニル床タイル 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	収納対象物を平置き設置	スチール棚・キャビネット	スチール棚
	2	現収蔵棚の使用状況	使用無し	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	天井へ突っ張り棒にて設置	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し
空調・電気 設備	1	現在の機器設備について	壁掛けエアコンあり	壁掛けエアコンあり	空調機無し
	2	空調に関する課題や困りごと	空調はあるが湿度管理が難しい	空調はあるが湿度管理が難しい	空調がないため、温度・湿度管理が難しい
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されてない	施設照明がLED化されてない	施設照明がLED化されてない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに 出ている資料等がある場合の対応について	定期的に燻蒸作業を実施 小規模なものは個別に清掃・クリーニング		
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注
その他	1	その他お困りごと			棚板が1枚もので大きく、重いため棚板が動かしづらい

保存環境について



区分	No	項目	収蔵庫 2	収蔵庫 3	収蔵庫 4
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100%にて表示、100%を超える状況は棚に置ききれず床置き状況を示す)	25%	40%	80%
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	移民大型資料・江戸資料	移民資料	文書・フィルム・レコード・衣類・地図他
	3	年間の収蔵品の増加率	公には募集していないが、市の受け入れ基準を満たした資料を受け入れる		
	4	作品リストの管理状況について	広島市にてデータベースを有する		
	5	収納物の収納状況について	スチール棚に整理され収納	スチール棚に整理され収納	スチール棚・マップケース・ドライキャビネット他
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	空調無しの為、外気影響	空調無しの為、外気影響	33.1℃ 湿度不明
	2	現収蔵庫の空気質	不明	不明	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	季節により報告あり	季節により報告あり	季節により報告あり
収蔵庫設備	1	現収蔵庫扉について	ガラス窓付き引き違い扉	ガラス窓付き引き違い扉	ガラス窓付き引き違い扉
	2	現収蔵庫の内装材	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	スチール棚	スチール棚	スチール棚
	2	現収蔵棚の使用状況	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し
空調・電気設備	1	現在の機器設備について	天井に扇風機あり	天井に扇風機あり	天井に扇風機あり
	2	空調に関する課題や困りごと	送風機の為、温度・湿度管理が難しい	送風機の為、温度・湿度管理が難しい	送風機の為、温度・湿度管理が難しい
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されていない	施設照明がLED化されていない	施設照明がLED化されていない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに 出ている資料等がある場合の対応について	定期的に燻蒸作業を実施 小規模なものは個別に清掃・クリーニング		
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注
その他	1	その他お困りごと	棚板が1枚もので大きく、重いため棚板が動かしづらい	棚板が1枚もので大きく、重いため棚板が動かしづらい	棚板が1枚もので大きく、重いため棚板が動かしづらい

保存環境について



区分	No	項目	収蔵庫 5	収蔵庫 6	収蔵庫 7
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100%にて表示、100%を超える状況は棚に置ききれず床置き状況を示す)	60%	10%	10%
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	移民資料	北海道移住者資料・移民資料	小型・中型民具
	3	年間の収蔵品の増加率	公には募集していないが、市の受け入れ基準を満たした資料を受け入れる		
	4	作品リストの管理状況について	広島市にてデータベースを有する		
	5	収納物の収納状況について	スチール棚に整理され収納	スチール棚に整理され収納	スチール棚に整理され収納
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	空調無しの為、外気影響	空調無しの為、外気影響	33.1℃ 湿度不明
	2	現収蔵庫の空気質	不明	不明	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	季節により報告あり	季節により報告あり	季節により報告あり
収蔵庫設備	1	現収蔵庫扉について	ガラス窓付き引き違い扉	ガラス窓付き引き違い扉	ガラス窓付き引き違い扉
	2	現収蔵庫の内装材	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板	床：フローリング 壁：ビニルクロス 天井：岩綿吸音板
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	スチール棚	スチール棚	スチール棚
	2	現収蔵棚の使用状況	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し	什器横つなぎ 落下防止ベルト無し
空調・電気設備	1	現在の機器設備について	天井に扇風機あり	天井に扇風機あり	天井に扇風機あり
	2	空調に関する課題や困りごと	送風機の為、温度・湿度管理が難しい	送風機の為、温度・湿度管理が難しい	送風機の為、温度・湿度管理が難しい
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されていない	施設照明がLED化されていない	施設照明がLED化されていない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに 出ている資料等がある場合の対応について	定期的に燻蒸作業を実施 小規模なものは個別に清掃・クリーニング		
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃	収蔵庫の清掃
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注	セキュリティ会社に外注
その他	1	その他お困りごと	棚板が1枚もので大きく、重いため棚板が動かしづらい	棚板が1枚もので大きく、重いため棚板が動かしづらい	棚板が1枚もので大きく、重いため棚板が動かしづらい

収蔵状況について

名称	写真	実物	地図図面	参考図書	文書	録音	映像	収蔵資料 点数計
高陽収蔵資料室	2 (2)	3,321 (1,784)	520 (43)	1,281 (154)	14,304 (2,050)	3,395 (885)	305 (12)	23,128 (4,930)

※カッコ内は総数に占める移民資料の数



高陽収蔵資料室 外観



資料室 1 床置き設置状況



収蔵庫 4 収蔵状況



収蔵庫 4 収蔵状況



収蔵庫 4 収蔵状況



資料室 2 収蔵状況



収蔵庫 1 収蔵状況



収蔵庫 4 収蔵状況



収蔵庫 5 収蔵状況



収蔵庫 5 収蔵状況



収蔵庫 2 収蔵状況



収蔵庫 3 収蔵状況



収蔵庫 6 収蔵状況



収蔵庫 7 収蔵状況

保存環境について

名称	収蔵庫面積	使用開始年度	主な収蔵品	収蔵資料点数計
戸坂収蔵庫	440 ㎡	平成元年度	大型機械資料など	3

収蔵庫状況の課題と検討事項

市の管理としては大型機械となっており、収蔵庫内に平置きで設置がなされている。一方で同空間内に埋蔵文化財・考古資料などが収蔵されている状況となっており、煩雑な状況（発掘関連資料が平置きにて山積みの状況）となっている。

収蔵状況としてはほぼ100%の状況となっており、大小の大きさの資料が床置きで保管されている。

施設の老朽化、シャッターの形状などから外部から埃や枯葉等の侵入が見られる。

保存環境

空調がないため、温湿度は季節によって変動する。

区分	No	項目	収蔵庫
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100%にて表示、100%を超える状況は棚に置ききれず床置き状況を示す)	100%
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	大型機械・埋蔵文化財・考古資料 他
	3	年間の収蔵品の増加率	公には募集していないが、市の受け入れ基準を満たした資料を受け入れる
	4	作品リストの管理状況について	市資料では3点であるが埋蔵文化財関連資料が大量に床置きされている
	5	収納物の収納状況について	埋文関連は床置き山積み 機械資料他平置き設置がほとんどである
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	空調無しの為、外気影響
	2	現収蔵庫の空気質	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	季節により報告あり
収蔵庫設備	1	現収蔵庫扉について	シャッター・スチール扉
	2	現収蔵庫の内装材	プレハブ内側ベニヤ壁 コンクリート土間 ガラス窓
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	スチール棚が見られたがほとんどが平置き
	2	現収蔵棚の使用状況	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	なし
空調・電気設備	1	現在の機器設備について	空調機器無し
	2	空調に関する課題や困りごと	温度・湿度管理が難しい
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されてない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに出ている資料等がある場合の対応について	個別に清掃・クリーニング
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	収蔵庫の清掃
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	セキュリティ会社に外注
その他	1	その他お困りごと	他の組織も使っているため収蔵状況の把握が難しい

収蔵状況について

名称	写真	実物	地図図面	参考図書	文書	録音	映像	収蔵資料点数計
戸坂収蔵庫		3						3

※カッコ内は総数に占める移民資料の数



戸坂収蔵庫 外観



戸坂収蔵庫 床置き設置状況



戸坂収蔵庫 収蔵状況



戸坂収蔵庫 収蔵状況



戸坂収蔵庫 収蔵状況



戸坂収蔵庫 収蔵状況

保存環境について

名称	収蔵庫面積	使用開始年度	主な収蔵品	収蔵資料点数計
船越収蔵庫	299 m ²	平成元年度	移民資料、民具資料、参考図書など	4,467

収蔵庫状況の課題と検討事項

主に民具が収蔵されている。資料調査員がいることで資料整理がなされており乱雑ではなく、管理下に置かれた状況となっている。

収蔵状況としてはほぼ100%の状況となっており、収納什器の他床置き of 資料が見受けられる状況である。

施設の老朽化などから床・壁・天井など内装の破損が見られる。

保存環境

空調吹き出し口を有していたが、老朽化しており空調がない状況に見受けられた。温湿度は季節によって変動し、夏場は高温になるようである。※8月22日温湿度計にて36.1度46%を確認

区分	No	項目	収蔵庫
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100%にて表示、100%を超える状況は棚に置きさされず床置きの状況を示す)	100%
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	南・安芸区の民具等
	3	年間の収蔵品の増加率	現状維持
	4	作品リストの管理状況について	広島市にてデータベースを有する
	5	収納物の収納状況について	スチール棚に収納 大型は平置き設置
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	36.1℃ 46%
	2	現収蔵庫の空気質	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	温度が高く虫・カビの被害が少ない
収蔵庫設備	1	現収蔵庫扉について	スチール扉
	2	現収蔵庫の内装材	床：ビニル床タイル 壁：ボード張り 天井：岩綿吸音板
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	スチール棚MDF棚板
	2	現収蔵棚の使用状況	規格品の為、作品の形状によっては収納ロス有り
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	特になし
空調・電気設備	1	現在の機器設備について	空調機器無し
	2	空調に関する課題や困りごと	温度・湿度管理が難しい
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されてない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに出ている資料等がある場合の対応について	個別に清掃・クリーニング
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	建物殺虫業務 収蔵庫の清掃
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	セキュリティ会社に外注
その他	1	その他お困りごと	建物が老朽化している

収蔵状況について

名称	写真	実物	地図図面	参考図書	文書	録音	映像	収蔵資料点数計
船越収蔵庫		4,450 (2)	2 —		15 —			4,467 (2)

※カッコ内は総数に占める移民資料の数



船越収蔵庫 外観



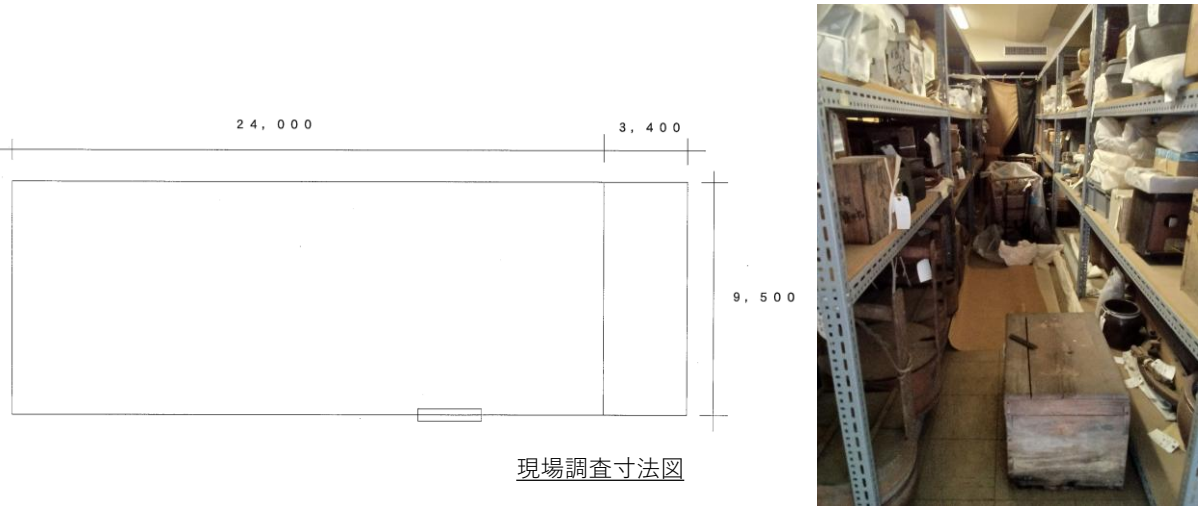
船越収蔵庫 収蔵状況



船越収蔵庫 収蔵状況



船越収蔵庫 収蔵状況



現場調査寸法図



船越収蔵庫 収蔵状況

保存環境について

名称	収蔵庫面積	使用開始年度	主な収蔵品	収蔵資料点数計
文化振興課分室	70㎡	平成11年度	写真資料 参考図書など	162,426

収蔵庫状況の課題と検討事項
書籍・写真資料などを収蔵しており、書架やドライキャビネットなどを用いた収蔵を行っている。資料整理がなされており乱雑ではなく、管理下に置かれた状況となっている。
収蔵状況は100％となっており、床置き資料も見受けられた。
施設は市役所の1室を使用しており、施設内空調も運転されていることから良好な環境が見受けられた。

保存環境
施設内空調が運転されており、温度・湿度ともに管理されている。
※8月22日温湿度計にて27度52.1％を確認

区分	No	項目	収蔵庫
収蔵状況	1	現在の収蔵庫収納状況 (0～100％にて表示、100％を超える状況は棚に置ききれず床置きの状況を示す)	120％ 棚＋床置き資料有り
	2	現在収蔵されている資料の種類と状況について	書籍・写真など（ドライキャビネット収納）
	3	年間の収蔵品の増加率	増加していく
	4	作品リストの管理状況について	広島市にてデータベースを有する
	5	収納物の収納状況について	書籍はスチール棚に収納 フィルム関連はドライキャビネットにて保管
収蔵環境	1	現収蔵庫の温湿度	27℃ 52.1％
	2	現収蔵庫の空気質	不明
	3	現収蔵庫の文化財虫菌害状況	特になし
収蔵庫設備	1	現収蔵庫扉について	スチール扉
	2	現収蔵庫の内装材	床：ビニル床タイル 壁：スチールパーティション 天井：岩綿吸音板
収蔵棚	1	現収蔵棚の種類について	スチール書架・ドライキャビネット
	2	現収蔵棚の使用状況	書籍の大きさに合わせて収納
	3	現収蔵棚の落下防止策・地震対策について	書架は天井つなぎ
空調・電気設備	1	現在の機器設備について	役所内空調
	2	空調に関する課題や困りごと	温湿度は安定しているため特になし
	3	その他設備関係での課題	施設照明がLED化されてない
IPM・運用	1	作品の寄贈や寄託の際・カビなどがすでに出ている資料等がある場合の対応について	個別に清掃・クリーニング
	2	現在取り入れている文化財IPMについて	建物殺虫業務 収蔵庫の清掃
	3	収蔵庫のセキュリティ管理方法は？	市役所のセキュリティ
その他	1	その他お困りごと	特になし

収蔵状況について

名称	写真	実物	地図図面	参考図書	文書	録音	映像	収蔵資料 点数計
文化振興課分室	156,243 (929)		1 －	5,354 (77)	813 (592)		15 (1)	162,426 (1,599)

※カッコ内は総数に占める移民資料の数



文化振興課分室 外観



文化振興課分室 収蔵状況



文化振興課分室 収蔵状況



文化振興課分室 収蔵状況



文化振興課分室 収蔵状況



文化振興課分室 収蔵状況

現地調査及びメール調査の結果を基に、本市における収蔵施設の現状を整理し、課題を抽出した。

まとめ1
収蔵環境

近年活用をはじめた高陽収蔵資料室を除き、可部・戸坂・船越の3つの収蔵庫使用率は、**ほぼ100%となっており、ゆとりがない状況**である。また、**施設の老朽化が目立ち、温室度管理や虫害予防も徹底が難しい環境**にある。

まとめ2
資料管理

専任の職員が定期的に資料を管理・清掃を行うとともに、種類別で分類し、さらに同じ種類の資料については寄贈者別に分類して管理するなど、**一定程度整頓されている状況**にある。

まとめ3
収蔵庫の立地

遊休地を活用しているため、**市内中心地からの利便性が悪いことから、資料の活用や管理が難しい状況**にある。

まとめ4
資料の収集方針・管理方針

昭和58年の基本構想に基づき、収集した資料については、旧日本銀行広島支店での常設展示や、郷土資料館・公民館など各施設での展示会開催、デジタル化した資料のウェブサイトでの公開、市民への貸し出しなどを行っているものの、一部の資料については、寄贈者不明のものや老朽化等により展示に耐えられないものが長期間保管されているなど、**体系的な整理や効率的な管理が十分にできていない状況**にある。このため、**資料の収集や廃棄も含めた、管理方針を整理するなど、本市における資料管理の在り方についても改めて見直す必要がある。**

まとめ5
他政令指定都市との比較

他の政令指定都市においても、収蔵機能のみを有する施設は設置されているが、**基本的に博物館に紐づく外部収蔵庫という位置づけであり、資料の保管や活用も、博物館の管理下**において行われている。また一部に、博物館に紐づかない収蔵施設もあるが、埋蔵文化財等の考古資料を主に収蔵しており、**本市のように市が所有する民俗資料を保管する収蔵施設の例は見られず、比較が困難**であった。